

巻頭言

ピンチはチャンス

(公社) 広島県診療放射線技師会
会長 木口 雅夫



新年度を迎えるにあたって、今年も各施設で多くの職種の新規採用者を迎える時期になりました。令和3年3月23日に厚生労働省から発表された国家試験合格発表データでは、新たに2,184名の診療放射線技師が誕生しました(合格率74.0%)。私たちと共に働く仲間ができたことは、大変喜ばしく思います。願わくは、広島県内の施設に採用された多くの方が本会に入会していただくことを祈念いたします。

昨年度末から年始にかけて、新型コロナウイルスの感染者が急増したため、広島県内でも施設の休館やイベントの中止・延期となりました。本会においても1月、2月開催の研修会の対面開催は難しく、急遽開催形態を見直すことになりました。第3回研修会は、会場参加とWeb参加のハイブリッド開催とし、日本診療放射線技師会 上田克彦会長には、東京からWebでご講演いただきました。第4回研修会は、完全Web開催で行われ、県内外から非常に多くの方にご参加いただきました。この度試験的に導入したウェビナー(Web研修会)の開催は、魅力的なメリットがありました。遠方からでも参加できる、移動手段の確保や移動が必要ない、インターネット環境がある場所ならどこからでも参加可能でありました。しかしながら、多くの問題点も生じています。今後、ウェビナー開催の継続も含めて、理事会で協議して会員の皆さまに十分なメリットがある開催ができるように検討していきます。

今年、タスクシフト/シェアといった診療放射線技師にとって大きな変革の年となります。令和元年から「医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト/シェアの推進」について厚生労働省で検討されてきましたが、ついに令和3年6月頃に医師の働き方改革に係わる医療法が一部改正される予定です。今後、タスクシフト/シェアが大

きく進み、私たち診療放射線技師に新たな業務拡大が行われる予定です。法案の目的には、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の働き方改革、各医療関係職種専門性の活用、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を進めるため」と記載されています。私たちの役割としては、医師の負担を軽減しつつ、高い専門性を活かせるよう業務範囲の拡大で対応することになります。具体的には、①造影剤、RIの静脈確保、抜針、止血、②RI注入装置接続、操作、③血管造影など動脈造影剤投与装置接続、操作、④下部消化管(CTC含む)CO2注入、空気吸引、⑤上部消化管鼻腔カテ挿入抜去、造影剤注入、⑥医師・歯科医師の指示を受け、病院・診療所以外の場所に出張して行う超音波検査などになります。このため、業務対応の有無に関わらず義務の700分研修と実技研修が必要となり、免許保有者は義務研修になります。日本診療放射線技師会が、「厚生労働大臣が指定する研修」を実施することとなり、広島県診療放射線技師会が県内で研修事業を行う予定です。令和3年6月ころから受講準備を進めて参ります。また、詳しい情報がわかり次第、本会ホームページ、メールマガジン等で情報共有していきます。

今年度もコロナ禍で十分な対応もできないことも懸念されます。「ピンチはチャンス」。ウェビナー移行やタスクシフト推進は、逆境の状況を絶好の機会と考えて乗り越え、自身を成長させる絶好のチャンスになるかもしれません。診療放射線技師が活躍できる時期になっています。本会でも多くの方が受講できるように全力を挙げて取組んでいきたいと思っております。タスクシフトに向けて進んでいきましょう。よろしく願いいたします。

会 告

令和3年度第1回 広島県診療放射線技師会研修会開催のご案内

公益社団法人 広島県診療放射線技師会
会長 木口 雅夫

謹啓 初夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の事業に対しまして、ご理解とご支援を賜り心から感謝を申し上げます。

この度、令和3年度第1回広島県診療放射線技師会研修会を開催いたします。

今回開催する研修会は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための対策（別紙1）を行いながら開催しますが、今後の感染状況や社会情勢等により開催を見送る可能性もありますので予めご了承ください。

今回の研修会では事前に参加人数を把握するため事前の参加登録をお願いいたします。

また、Webによるライブ配信を予定しております。

ご多忙中とは存じますが、よろしくご配慮いただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

開催日時：令和3年6月27日（日）13時00分～15時30分

開催場所：広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

内 容：

13：00 - 13：30 「コロナ禍における医療支援クラウド-トリアージ外来を経験して-」

霞クリニック 上田 英弘 先生

13：30 - 14：15 「水晶体の線量限度について -その引き下げと、DOSIRISの運用-」

株式会社千代田テクノル 線量計測事業本部
古谷 一隆 先生

14：30 - 15：30 「放射線診断医はここをみている -泌尿器・婦人科領域編-」

広島大学病院 本田 有紀子 先生

定 員：40名（定員に達した時点でWeb参加となります）

受 講 料：無料（非会員は1,000円）Web視聴は会員のみ申込可能

申込方法：下記のURL、またはQRコードからgoogleフォームにアクセスして事前参加登録をお願いします。Web視聴による参加も申込みが必要です。

U R L：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdBrQy09DC0seGbNgw-20KE_MJBS8e4niH7bFvYNwJbjNxx_Q/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0



会 告

別紙1

研修会の実施について

研修の実施においては、厚生労働省新型コロナウイルス感染対策専門家会議で提案された「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大防止対策および衛生環境整備に努めて参ります。また、感染拡大の状況により、研修中止または中断があることもご理解の程よろしくお願いいたします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

【感染拡大防止対策について】

- ・入室時に非接触型体温計による検温を行う。
- ・入室時の手指アルコール消毒を徹底する。
- ・受付時に健康状態チェックリスト（発熱、感冒様症状）にてチェックする。
- ・受講者、講師、スタッフ等参加者全員の常時マスク着用を義務付ける。
- ・研修に当たっては、空調設備を常時稼働させると共に、1時間程度に1回、また休憩中に会場の換気をする。
- ・研修会会議室は、室内面積346㎡、天井高2.7mの空間、収容人数は40名程度を想定している。

【研修会の参加禁止について】

- ・研修参加2週間前から前日までに受講予定者が体調不良を自覚した場合。
- ・研修参加2週間前から前日までに本人が濃厚接触者となった場合。
- ・受講者・講師・スタッフの家族等が発熱あるいはクラスターに含まれると判断した場合。
- ・当日に体調不良を自覚した場合。
- ・濃厚接触者と判明した場合。
- ・受講者・講師・スタッフの家族等同居人が発熱あるいはクラスターに含まれたと判断した場合。

【感染情報の通知について】

- ・研修終了後に受講者・講師・スタッフ等参加者が新型コロナウイルス感染疑いとされ、感染確認がされた場合は、本会に報告することを義務付ける。
- ・受講後に受講者・講師・スタッフ等が新型コロナウイルス感染確認された際は、本会から参加者全員に濃厚接触の可能性のある旨を連絡する。

会 告

公益社団法人 広島県診療放射線技師会
会長 木口 雅夫

令和2年度定時総会開催のお知らせ

公益社団法人広島県診療放射線技師会定款に基づき下記の通り総会を開催いたします。なお、会員の皆様は、委任状にてご参加下さいます様お願いいたします。会場参加を希望される方は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1回研修会参加フォームから事前登録をお願いします。総会議案はRTJournal No.55または、広島県診療放射線技師会ホームページ(<http://hiroshima-rt.com/>)でご確認下さい。総会へのご意見・ご質問は、本会ホームページの「メールでのお問い合わせ」にご記載下さい。なお、当日Web配信も予定しています。

記

日 時：令和3年6月27日(日) 15時45分～16時45分
場 所：広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

議 事

- 1) 令和2年度事業報告
- 2) 令和2年度決算報告書
- 3) 令和2年度監査報告
- 4) 令和3年度事業計画
- 5) 令和3年度予算計画書

表 彰

- ・石井賞 本山 貴志 JA広島総合病院
森本 章 呉共済病院
- ・楨殿賞 松浦 貴明 広島がん高精度放射線治療センター
- ・奨励賞 武内 雅文 土谷総合病院
内野 達朗 済生会呉病院
田丸 隆行 JA広島総合病院
津田信太郎 広島大学病院
友安 美沙 広島大学病院

施設紹介

広島通信病院

広島通信病院 放射線室 松原 進



【病院沿革】

大正11年 土橋町に旧通信省所管として広島通信診療所が開設。昭和10年 現在地に移転。昭和17年 広島通信局広島通信病院と改称。昭和24年 郵政省附属病院となる。昭和55年 一般開放。平成19年 日本郵政株式会社組織に変更となる。

「通信」の名前は、一般的に使用されることはほばない馴染みがなく、我々も説明できない単語であるが、駅通の「通」と電信の「信」を合わせたもので、ともに通信省の母体となった組織（駅通局、電信局）の名前から1字ずつ取ったものだと言われている。院内には郵便の創業者である前島密の写真が掲示されている。



ちなみに「通」という漢字には“かわるがわる”“つぎつぎに”という意味がある。

【おもな機器紹介】

- 一般撮影装置：Rad Speed Pro（島津）、KXO-80F（Canon）
- CT装置：Aquilion Prime SP（Canon）
ワークステーション：AZE
- MRI装置：Achieva 1.5T（phillips）
- 手術室イメージ装置：BV-25G（phillips）
- 骨密度測定装置：PRODIGY Fuga（GE）
- 乳房撮影装置：AMULET（Fuji）
- X線透視装置：Exavista（Fuji）
Ultimax（Canon）* 近日更改予定
- 超音波断層装置：Aplio i800、Aplio 400、Artida（Canon）

通信病院は全国で14施設あったのだが、郵政民営化により始まった事業縮小により現在3施設（東京、京都、広島）となっているため、我々は複雑な心境である。

【病院概要】

- 110床
 - 内科、外科、整形外科、小児科、婦人科、眼科、放射線科、健康管理センター
- なかでも、外科で行っている下肢静脈瘤治療は全国的にも知れ渡っている。

当院は広島城の近くに位置し、当院から歩いて、広島城まで3分、新サッカースタジアムまで8分、ズームスタジアムまで36分である。

【放射線室】

診療放射線技師：5名
臨床検査技師：2名（非常勤1名）
平均年齢52歳とややくたびれ気味ではあるが、なんとか気合いで頑張っている。

【スタッフの取得資格】

X線CT認定技師、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、胃がん検診専門技師、超音波検査士（循環器、消化器、体表、健診）、血管診療技師（CVT）

- CT装置：Aquilion Prime SP (Canon)
ワークステーション：AZE



装置を含め撮影室内のデザインに拘ってみた。

- X線透視装置：Exavista (Fuji)



特に不自由なく使用している。

- 骨密度測定装置：PRODIGY Fuga (GE)



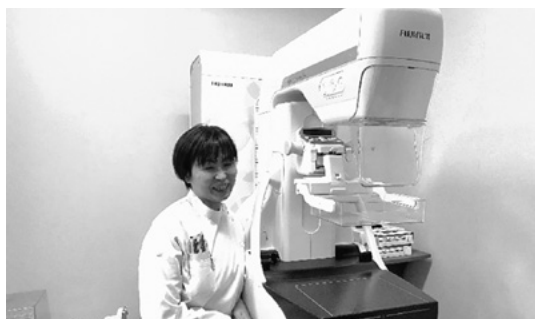
予想に反し、使いやすい装置であったが、操作モニターの文字が小さいのが少々辛い。

- 超音波断層装置：Aplio i800 (Canon)



とにかく使いこなせるべく頑張っている。

- 乳房撮影装置：AMULET (Fuji)



フルオートはとても便利だが、カスタム使用は少々難儀である。

- 一般撮影装置：Rad Speed Pro (島津)

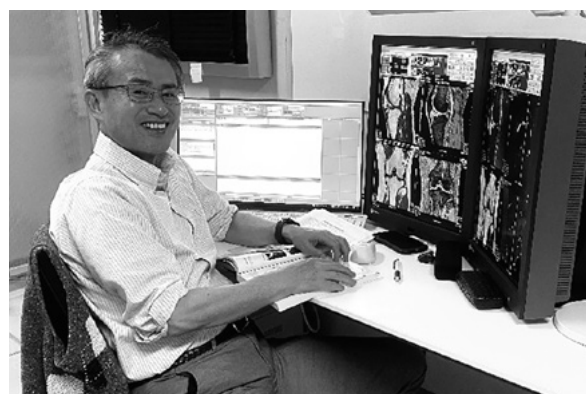


(*装置およびコメントに登場人物は関係ありません。コメントはあくまでも個人の感想です。)

【ノート】

まずは、当放射線室の最大の特徴は、超音波検査（年間4,000件程度）を積極的に実施していることであろう。CTやMRI画像に慣れている放射線技師にとって、超音波検査は取り組みやすい検査と思われることから、県内のさらなる放射線技師による超音波検査の普及を望んでいる。

また、今春、広島市民病院を退職された浦島正喜先生が当院に着任された。当院にとって初めて放射線科医の常勤が実現した。いろいろ指導をいただきながらさらなる技術・知識の研鑽に努めていきたい。



浦島正喜 先生

令和2年度 第3回研修会報告

広島大学病院
小鷹狩 賢司

令和3年1月16日(土)にTKP広島駅前大橋ホール5Aにて開催された第3回研修会を企画・運営したので報告します。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、感染拡大防止対策を十分に行いながら研修会を開催いたしました。また、研修会の参加が禁止されている施設や遠方のため参加できない会員のために現地の講演をZoom、YouTube Liveを用いて同時配信をするHybrid形式を採用しました。このようなHybrid形式の研修会は外部委託すると非常に予算が掛かりますが、横町理事の尽力により非常に安価な予算でスムーズに開催することができました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。マイクの音声聞き取りづらかった、スライドが見えにくかったなどのご意見もありますが、初めてのHybrid形式の研修会であったこと、非常に低予算で開催していることをご理解いただき、今後の検討課題とさせていただきます。

研修会は会場・Web参加者合わせて約70名の参加でした。最初の講演は広島大学病院 高度救命救急センター 京先生より「COVID-19と救急・集中治療」のタイトルで重症の新型コロナウイルス感染患者を最前線で治療されている臨床医の講演でした。画像所見、感染対策など学ぶものが多い講演でしたが、その中でもっとも印象的だったのはPCR検査陰性だが新型コロナウイルス感染症を疑う場合のCT検査の有用性についてです。CTは診断確定後の病態評価が主であると思っておりましたが、今後は診断目的にCT検査が増えてくるかもしれません。今後の臨床に生かせるようにしたいです。

第二部は日本診療放射線技師会 上田会長より「日本診療放射線技師会の今後と目指すべき将来像」の講演(緊急事態宣言によりZoomからの講演)がありました。

JARTの現状から今度の体制、タスクシフトについてわかりやすく解説していただきました。法改正により業務拡大講習が全員必須受講であること、特に造影剤を投与するための静脈注射が実施できることによって今までの業務が大きく変わっていくのではないかと感じました。まだ具体的な実習などは決まっていないとのことですが、今後の動向に注目していきたいと思います。

最後になりましたが、今度も会員の皆様に役立つ研修会を企画していきたいと思っております。

聞きたい講演などありましたらいつでもご連絡ください。

令和2年度 第4回研修会報告

JA尾道総合病院 放射線科
塚本 友勝

令和3年2月11日（木・祝日）オンライン開催にて、令和2年度第4回研修会が開催されました。

例年ならば福山市開催で行ってありますが、広島県内の新型コロナ感染者の増加に伴いオンライン開催となりました。前回の令和2年度第3回研修会では、会場とオンラインのハイブリット開催でしたが、本研修会はzoomを導入し、完全オンライン開催となりました。

研修会の内容は講演①②では、中国中央病院 大原 健佑先生に「COVID-19患者撮影の対応」、福山市民病院 栗江 卓巳先生に「みんなで学ぼう新型コロナウイルスの対応～福山市民病院での対策～」と各御施設での経験と対策をご講演頂きました。なかなか、他施設の運用状況を伺う機会がなく、とても参考になりました。

講演③では、名古屋第二赤十字病院 大保 勇先生に「救急CTカンファ@ZOOM～救急CTにまつわるエトセトラ～」と題され、救急撮影に見落としがちな画像上のサインや症例、運用についてご講演頂きました。救急撮影において、スカウトビューや単純CTの情報を活用しよう！という内容には、撮影したすべて画像を注視する重要性を改めて再認識させて頂きました。また、ご講演中にはQRコードを使用した参加型の読影問題が行われ、楽しく拝聴する事ができました。

講演④では、福山市民病院 下江 亘先生に「サクッとわかる線量測定」と題され、実際に測定風景のスライド用いて測定方法やポイントをわかりやすく説明して頂きました。また、下江先生が測定した際に苦労した点や失敗した点など体験談を交え詳しく説明して頂き、とても参考になりました。

講演⑤では、昭和大学 大学院 保健医療学科 教授 加藤 京一先生に「やっぱり読影の補助じゃろ！～読影の補助の方向性～」と題され、読

影の補助の現在までの活動の経過、現在の状況、今後の方向性をわかりやすくご講演いただきました。また、多くの課題や問題点なども挙げられ、それに対する先生の考えや今後の取り組みについてお話し頂き、とても熱いご講演でした。

本研修会は、広島県診療放射線技師会の初の試みとなる完全オンラインで行われましたが、広島県内外から約165名と多くの方に参加していただき、ありがとうございました。（アカウント毎でのカウントで、複数名で視聴はカウントされていません）

今回オンライン配信であれば、開催地（会場）より遠方でも移動時間、交通費の節約になり参加しやすいので、今後も続けてほしいと多くの意見がよせられました。多くの方に研修会に参加いただける様、オンライン配信を続けていきたいと考えています。



令和2年度 支部活動報告

福山支部、尾三支部（東部地区）

公立学校共済組合 中国中央病院

畑山 秀貴

福山支部、尾三支部（東部地区）では次のとおり令和2年度研修会、行事を行いましたので報告します。

例年7月上旬に行っていた東部地区診療放射線技師会研修会は新型コロナの影響により今年度は見送りとなりました。

同日行う予定であった第40回広島県東部地区診療放射線技師会総会も書面による報告を行い、ハガキによる議決を行い承認されました。

次年度はリモートもしくはハイブリット開催を検討しております。

令和2年度 第4回 広島県診療放射線技師会研修会

日時：2021年2月11日（火・祝日）13：00～16：00

会場：オンライン開催（ZOOM）

参加料：無料

参加者：171名（うち県外参加者32名）

プログラム

総合同会 福山市民病院 三村 尚輝

13：00～13：50

座長 JA尾道総合病院 塚本 友勝

1. 「COVID-19患者撮影の対応」

中国中央病院 放射線科 大原 健佑 先生

2. 「みんなで学ぼう新型コロナウイルスの対応～福山市民病院での対応～」

福山市民病院 放射線科 栗江 卓巳 先生

13：50～14：40

座長 中国中央病院 畑山 秀貴

3. 「救急CTカンファ@ZOOM ～救急CTにまつわるエトセトラ～」

名古屋第二赤十字病院 放射線科 救急放射線技術係長 大保 勇 先生

14：40～15：10

座長 福山市民病院 三村 尚輝

4. 「サクッとわかる線量測定」

福山市民病院 放射線科 下江 亘 先生

15：10～16：00

5. 「やっぱり読影の補助じゃろ！～読影の補助の方向性～」

昭和大学 大学院 保健医療学研究科 教授 加藤京一先生

例年第4回研修会の後行われていた東部地区新年互例会、懇親会は中止となりました。

次年度は新型コロナ対策をおこなった、新しい生活様式に沿った研修会を企画していきたいと思えます。

よろしくをお願いします。

呉支部

呉市医師会病院

山本 健之

令和2年度呉地区での活動状況をご報告いたします。

令和2年8月に呉共済病院にて第129回呉放射線技術研究会を開催予定で準備を進めておりましたが6月に呉共済病院会議室使用について制限が設けられ各施設とのメールでの話し合いにより研究会の中止（延期）を決定いたしました。

今後の動向が予測できませんが、またみなさんで集まり研究会を開催できればと切に願っております。

東広島・竹原支部

土肥整形外科病院

荒木 真悟

支部活動は新型コロナウイルスによる感染拡大防止措置の為、行われませんでした。研修会会員の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力の程宜しくをお願いします。

なお令和2年度当番幹事施設の木阪病院、東広島記念病院には、令和3年度も当番幹事施設として引き続き宜しくをお願いします。

南東安芸支部

広島大学病院
横町 和志

広島南東安芸支部での活動を報告します。

例年、年度末に開催していたMRの基礎を学ぼうが支部の事業から県の事業に変更されました。その他の開催を考えてみましたが、COVID-19の感染推移が不安定で開催に至りませんでした。

令和3年度は状況を見ながら、Web開催も視野に入れ会員の皆様へ何かしらの情報提供が出来ればと考えております。よろしくお願ひ致します。

北部支部

庄原赤十字病院
安井 哲士

北部支部定期総会および第1回研修会

COVID-19の影響により研修会は中止、北部支部定期総会は資料郵送にて書面決議とした。

第2回研修会

COVID-19の影響により中止。

役員体制 (2020年4月～2021年4月)

役職	名前	所属	担当
支部長	安井 哲士	庄原赤十字病院	総括・理事会
副支部長	平岡 聡	JA吉田総合病院	学 術
副支部長	平田 彰	市立三次中央病院	個人病院・福利厚生
庶務会計	藤本 耕平	庄原赤十字病院	庶務会計・連絡
会計監査	福重 栄治	三次地区医療センター	監 査

今年度はCOVID-19の影響によりほとんどの活動が行えませんでした。

色々なご意見があろうかと思いますが、研修会あつての技師会ではなく、放射線技師をはじめ多くの医療従事者、住民の健康あつての北部技師会です。何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。Web開催等を考えながら技師会活動を盛り上げていきたいと思ひます。

皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

西部支部

JA広島総合病院
池田 将敏

令和2年度は、コロナの影響もあり、積極的な研修会企画まで至らず、西部地区での開催が出来ませんでした。

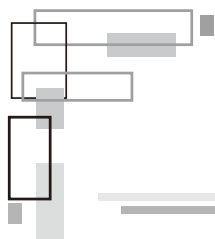
令和3年度は、出来れば対面式で、状況次第でハイブリッドでの開催を夏季にする方向です。

広島中央支部

医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院
小村 哲也

広島中央支部での活動を報告します。

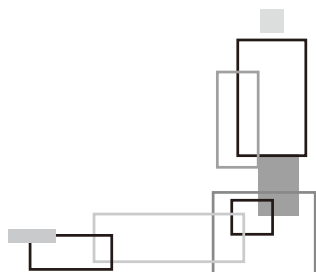
例年、年度末に開催していた広島中央支部研修会はCOVID-19の影響もあり、開催できておりません。令和3年度は状況を見ながら、Web開催も視野に入れ、何かしらの形で開催を検討しようと考えております。よろしくお願ひ致します。



会員情報

新入会・再入会

宮 田 瑠璃乃	光仁会 梶川病院
伊 藤 里 帆	広島市立広島市民病院
井 本 真奈美	辰川会 山陽病院
寶 田 悠 真	福山循環器病院
森 昭 文	広島大学病院
徳 重 俊 成	日本鋼管福山病院
石 田 健 一	自衛隊呉病院
富 山 紗莉菜	J A広島総合病院
檜 山 美和子	社会医療法人千秋会 井野口病院
岡 田 昌 洋	広島市立安佐市民病院
鳥 居 茉由季	社会医療法人千秋会 井野口病院
向 井 健 人	社会医療法人千秋会 井野口病院
楠 田 爽 夏	広島大学病院
豊 田 高 稔	広島大学病院
佐々木 陸 海	広島市立広島市民病院
長 井 立 城	独立行政法人国立病院機構福山医療センター
小 松 和	済生会広島病院



理事会議事録

令和2年度第4回理事会議事録

日時：令和2年12月6日(日)10:00～12:45

場所：広島大学病院 臨床管理棟3階
3F2会議室

議長 木口 雅夫

議事録記載人 森 美由紀

議事録署名人 木坂 智香・山田 聖

出席理事 23名

木口 雅夫・山口 裕之

中上 康次・稲山 雄次

森 美由紀・小鷹狩賢司

木坂 智香・菊原由香利

大胡 文彦・山田 聖

今井 康介・小村 哲也

三村 明生・池田 将敏

山本 健之・塚本 友勝

畑山 秀貴・三村 尚輝

出席監事 1名

今田 直幸

以上の通り、理事の過半数に相当する理事が出席したため、本理事会は適法に成立した。

議題

報告事項

1. 年間計画（タイムスケジュール）の確認

別紙赤字部分が変更点である。

2. 総務：会員動向、永年勤続表彰、研究会・研修会後援について

会員動向：新入会7名、再入会4名、退会1名、転入2名

永年勤続表彰：推薦者として、50周年2名、30周年37名を提出

研修等：2月14日JART主催研修会「一般撮影講習会」
(申込：12月14日～)

定員50名

(20名を切ると開催できない)

会費3,000円

(非会員10,000円)詳細別紙参照

郵便物不着：住所確認しDB変更済み、
詳細別紙参照

3. 学術：研修会開催について（第2回研修会、マネジメント研修会）

9月27日「第2回研修会」：参加者64名、アンケート回答率80%（51名）

コメント：ハイブリッド研修会を希望/座り方に工夫が必要

10月31日「マネジメント研修会」：参加者43名、アンケート回答率70%（30名）

4. 教育委員：フレッシューズセミナーについて

8月30日「フレッシューズセミナー」：参加者21名、アンケート回答率76%（16名）

従来1日→昼からの半日で実施、情報交換会は中止とした。

入会するかどうか不明…3名。こういった方にどう伝えていけるかが大切。

5. 企画：レントゲン週間開催について

役割分担上手くいった。コロナ禍にて接触を減らしたが、風船は実施した。

広島県と初めてコラボした。手続き、報告書が必要だったが、今後も利用したい。

ポスターを一部更新した。今後はパネルで準備、年内に取り掛かりましょう。

6. 編集：RTJournal No.54発刊、ニュース発行について

RTJournal 54号 12月15～16日頃発送予定。

7. 広報：ホームページ掲載、メールマガジン発行について

特に問題なく、迅速に対応できた。

掲載希望者は、チラシのみ提示は不可。文書（文字データ）とセットで受理とする。

掲載後の依頼者への返信は今井理事から、メール本文にURLを記載しておく。

メールマガジンは、月一回、月初目途に発信している。

8. 福利厚生：今年度の活動について

ソフトボール大会は、検討するも中止。来年度については、審議事項とする。

9. 支部：支部活動計画について

中央：中止

西部：中止

北西山県・北部：欠席にて報告なし

東南安芸：2月MRI研修会(2/27 or 3/6)、
開催形式は検討中

10. 財務：財務状況について

会費収入 7,280,680円

現時点で未払の会員は39名

研修会費：第3回研修会までで、昨年より489,868円少ない（第3回研修会は予定額）。

研修会費用は減少も、70周年記念誌費用に転用にて、公益比率的には問題ない推移である。

11. 監事：広島県公益目的事業の内容の変更等について

県から問い合わせが来た。公益事業目的に変更はないと回答。

12. 連盟支部：連盟活動について

中上副会長が東京開催のパーティーに参加。畦元代議士の活動支援。

次回選挙で当選するためには名簿順位2位であることが望ましく、3,000人の後援者を集めたい。

12月末の数字で順位が決まる。各県の理解が低いのが、畦元代議士の地元でもある広島県では何とか数を伸ばしたい。皆の協力をお願いする。

審議事項

1. 学術：研修会開催について（第3回、4回研修会）

・第3回研修会

開催日：1月16日(土)14:00～16:15

会場：TKP広島駅前大橋 ホール5A

定員：180名の会場にテーブル81
(定員81名)

開催形式：会場+Web

WebはZoom、YouTubeで検討、必要により設備購入、参加申込方法確認。

引き続き、17時より賀詞交歓会を開催。

会長挨拶、上田JART会長挨拶、畦元代議士挨拶、中上。

歓談は出来ないのので、各社挨拶。お弁当は持ち帰り。

・第4回研修会

開催日：2月11日(木・祝日)

Web形式で実施。(東部は集まらない病院が大半なので完全なWeb開催希望)

Webなら3時間程度(通常4時間)で考えている。

Zoomは最大100人までなので、Webinarの利用も考慮、契約等は森が対応。

Webでの実施方法他、詳細は別途担当者間で詰めることとなった。

以上、研修会の開催内容について、全会一致で承認された。

2. 教育委員：基礎技術講習会開催について

講習会名：令和2年度 診療放射線技師
基礎学術講習会 一般撮影

開催日：2月14日(日)

会場：広島大学病院 臨床研究棟3階
大会議室

定員：50名

(20名を切ると開催できない)

申込：JART情報システム内メニューより

プログラム：別紙のとおり

以上、研修会の開催内容について、全会一致で承認された。

キャンセルも可能なので日程は押さえておき、5月23・30日で調整とす。

・3月6日開催、広島放射線治療チーム医療研究会への共催依頼

日本診療放射線技師会生涯学習システムのポイント申請可。共催について承諾とす。

3. 編集：RTJournal No.55編集

紙面の構成案について戸塚理事より別紙の提示あり。

冠婚葬祭の掲載をどうするか、個人情報や安易に載せてほしくないという声が会員よりあり。

慶弔見舞金申請時に確認するのが良いのではないか。

入会(新・再)は掲載、退会は掲載しない、互助会関係は選択させる、ということに決定した。

話の流れより、互助会申請対応時、遠方の技師では手渡し押印は難しく押印廃止を提案された。

以上について、全会一致で承認された。

4. 記念誌編集：70周年記念発刊について

編集印刷費用：1,166,000円、今田監事より概要説明。

昨年度、70周年記念式典規模縮小により持越しとなった費用で作成。予算的には問題なし。

費用内容について、全会一致で承認された。

5. その他審議事項

・ソフトボール大会について

屋外だが人が集まり、現地への移動が生じるため後日決定する。

令和2年度第5回理事会議事録

日時：令和3年3月21日(日)14:00～17:20

場所：広島大学病院 臨床管理棟2階
2F2会議室

議事録記載人 小鷹狩賢司

議事録署名人 穂山 雄次・横町 和志

出席理事 24名

木口 雅夫・山口 裕之

中上 康次・戸塚 功二

穂山 雄次・森 美由紀

大胡 文彦・本城 圭祐

今井 康介・小村 哲也

三村 明生・横町 和志

池田 将敏・荒木 真吾

畑山 秀貴・木坂 智香

小鷹狩賢司（敬称略）

出席監事 石田 順一・今田 直幸

出席理事 17名

出席監事 2名

以上の通り、理事の過半数に相当する理事が出席したので、本理事会は適法に成立した。よって当法人定款35条に基づき会長 木口雅夫は議長の席に着き開会を宣言し直ちに議事に入った。

議題

1. 年間計画（タイムスケジュール）の確認

木口会長より年間計画のタイムスケジュール表に沿って確認した。

2. 総務：会員動向

森理事より新入会9名、再入会7名、退会17名の報告があった。

穂山理事より郵便物が届かなかった場合は、個別に連絡をとり修正をしているが、修正できていない会員が1名いる。先月連絡をして修正依頼をしている。

3. 学術：研修会開催について（第3回研修会、第4回研修会）

山口副会長より第3回の研修会報告が行われた。Hybrid形式で参加者は約70名、現地に20名、Webが50名であった。研修会後のアンケートの結果より水晶体の被ばく管理などについて要望があり次回研修会の参考にしていく。横町理事より他の研修会ではZoomで参加できなかったなどのトラブルもあるためバックアップとしてYouTube liveは有用であること、参加者よりYouTubeの画質が悪かったとの意見があった。今後は、画質の設定方法を事前に送っておく必要があるとの報告があった。

小鷹狩理事より第4回研修会の報告があった。ZoomでのWeb開催で参加者は171名で県外からの参加32名であった。当日の参加名が事前登録と異なる参加があり、今度は登録名を自分の名前に変更してもらうようにアナウンスが必要であるとの意見があった。有料のウェビナー契約をすることで以下の事に対応できる。①事前参加登録機能により、ウェビナーの参加URLがそのまま返信できる。②URLが届かない、誤ってメールを削除したなどのトラブルが回避できる。これらを踏まえて有料会員の継続を希望する。また、有料アカウントを個人ではなく、技師会アカウントに統一するようにすることに決まった。

山口副会長よりWeb開催時の非会員の研修会参加費について、今後どうしていくか提案があった。全員を無料にしてしまうと会員のメリットがなくなる、非会員を参加不可にすると公益性が失われるなどの意見があった。Hybrid開催で会場参加のみ非会員参加を可能にし、Web参加は会員のみとする案も提案された。次回の理事会で決定できるよう引き続き検討していく。

次回研修会は令和3年6月27日(日)広島大学病院で予定している。

4. 教育委員：基礎技術講習（一般撮影）について

稲山理事より2月14日に基礎技術講習（一般撮影）の開催報告があった。日本診療放射線技師会の感染拡大防止のガイドラインに基づいて開催し、広島県19名、愛媛県1名の計20名の受講であった。

主要都市で開催されていたJART主催の講習会（放射線管理士、放射線機器管理士、医療画像情報精度管理士、臨床実習指導員、放射線被ばく相談員）について、今後試験のみを各地域が担当し開催することが検討されている。

5. 企画：レントゲン週間開催について

中上副会長より令和3年11月にシャレオ中央広場で開催できるように計画している。展示パネルの更新を計画しており、基本レイアウトに準じて、担当となった理事が作成する。B1サイズ、作成年月日を記載して数年で更新できるようにする。マンモグラフィに関しては独自のレイアウトで作成、フォーマットをそろえるか検討する。最初の入稿メ切りは6月の理事会開催日とする。

6. 編集：RTJournal No.55発刊、ニュース発行について

戸塚理事よりRTJournal No.54を12月に発行した報告があった。発行部数は920部であった。RTJournal No.55を現在作成中で6月11日に発送予定である。進捗状況は、年度途中のため原稿が全て集まっていないが、支部の活動報告、施設紹介、研修会報告、理事会の議事録、入退会の情報を掲載する予定である。総会資料を掲載した会誌の発送よりも前に総会委任状を先に発送する。次回理事会で決算等承認後、早急に総会資料をホームページに掲載して会員に確認していただく。木口会長から会誌の印刷・発送が遅れることもあるため、原稿締切り早めて6月11日より早く発送

することを検討してほしいとの要望があった。また、背表紙の追加、編集委員、発行元、発行日などを追加してほしいと依頼があった。

戸塚理事からは、検討紙面のマンネリ化が続いており、新しいアイデアがあればお願いしたいとの要請があった。

7. 広報：ホームページ掲載、メールマガジン発行について

横町理事よりメールマガジンは毎月トラブルなく配信できていることが報告された。今井理事より本年度のトラブルとしてホームページが数時間程度稼働しなかった報告があった。原因としては、ホームページ会社のサーバーを自動更新するためのクレジットカードが自動更新できていなかった。現在は問題なく稼働している。

ホームページの申し込みフォームからの迷惑メールが非常に増えている対策として、メールアドレスの確認欄、施設名、フリガナ、スパム対策を追加検討している。

横町理事よりメールマガジン配送の際の改善要望があった。現状としては、urbanのサーバーを使用しているが一日400件しか送信できない、複数回に分けて送信している報告があった。これらのことを改善できないかとの提案があった。今後プロパイダ契約の変更を含めて検討していくこととした。

今田監事より中本本店よりホームページの変更を打診された。今井理事からは、現状として軽微な変更なども対応できているため特に困っていないといった回答があった。改修見積もりとして200万円弱必要で、予算も高額のため今回は見送ることとした。

8. 福利厚生：今年度の活動について

荒木理事よりソフトボール大会は5月30日（日）に、みよし運動公園で開催することが報告された。新型コロナウイルス対策をしながら開催できるように検討中である。年度明け

には過去の参加チームには開催案内を送る予定である。事前抽選会、試合開催時間に合わせて集合するなどの感染予防対策を検討するように要請があった。

9. 支部：支部活動計画について

中央支部（小村理事）：コロナ禍のため活動できなかった。来年度はWeb開催を考慮しながら活動していく。

南東安芸（横町理事）：例年MRの研修会を行っていたが本年度から県の行事となったため、本年度は活動ができなかった。来年度は別の研修会を検討する。

東広島（荒木理事）：今年度はコロナ禍で活動できず、来年度は感染状況をみながら活動する。

尾三・東部支部（畑山理事）：今年度と同じ時期に研修会を予定している。東部技師会の規約変更を検討している。広島県技師会員の会員を優先するような形で変更していく予定である。

西部（池田理事）：コロナ禍で開催できず、来年度はできたら会場開催、難しければZoomなどを用いた研修会を検討している。

北部支部、北西山県支部、呉支部は欠席のため報告がなかった。

石田監事より、Webで開催した場合、他の支部会員も視聴できるような対応をしていただきたいとの要望があった。

木口会長より各支部の来年度計画を立て、次回理事会に開催予定（開催時期）を報告するように依頼があった。

10. 財務：財務状況について

森理事より財務状況について、公益比率は5割を超えており大きな問題はない。法人費用として事務所のパソコンの更新やスキャナなど什器更新などを検討している。公益比率を維持するためにも、次年度以降、遊休財産額保有制限を意識して適正に使用していく必

要がある。創立70周年記念事業で使用できなかった経費を次期開催の記念事業積立に割振っている。このため、既に積立額が予定金額に達している。今後遊休財産額が大きく残るようであれば一時的な会費の値下げの検討も必要になるかもしれない。

木口会長より、会費の値下げよりはWeb研修会や各支部研修会に費用を投入し、主催は支部でも県全体に発信してはなどの意見があった。各支部には、質の高いWeb開催のための準備として物品の購入含め計画的に事業を行うよう指示あった。

森理事よりマンモ触診ファントム（約7万円）購入の提案があった。協議した結果、ファントムの購入が決定した。

中上副会長よりプロジェクト、穂山理事よりWebカメラの購入希望があった。少額物品に関しては、見積書を取得し、購入申請後に立替払いで購入できることの説明があった。

11. 連盟支部：連盟活動について

日本診療放射線技師連盟から入党している自民党員数が、広島県で全国一位となった。自由民主党 宏池会所属で参議院選挙に出馬する西田ひでのり氏を応援するために4月3日17時よりメルパルク広島で開催されるあぜもと将吾代議士と広島県診療放射線技師会で西田ひでのり氏を応援する会に参加していただくように協力依頼があった。

広島県診療放射線技師会と畦元代議士で移動型CTの陳情を広島県知事、広島県議会会長、広島市長に提出した。

広島県診療放射線技師会より西田ひでのり氏を応援する推薦状を作成し提出する。

審議事項

1. 総務：令和2年度会員動向（入会、退会）、表彰事業（3賞）について

会員動向は別紙にて報告する。

表彰事業は、本年度の学術実績資料に基づ

き検討した。石井賞にJA広島総合病院 本山貴志氏、呉共済病院 森本章氏、楨殿賞に広島がん高精度放射線治療センター 松浦貴明氏、奨励賞に土谷総合病院 武内雅文氏、呉済生会病院 内野達郎氏、JA広島総合病院 田丸隆行氏、広島大学病院 津田信太朗氏、友安美沙氏が推薦された。表彰3賞について審議し採決の結果、全会一致で表彰推薦者全員が承認された。

2. 学術：研修会開催について（令和3年度研修会開催計画）

山口副会長から令和3年度の研修会開催計画の説明があった。研修会に多くの方が参加できるようにするためにZoom Webinarの年間契約し、研修会や支部活動で活用したいとの要望があった。審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

3. 教育委員：令和3年度 フレッシュアップセミナー、基礎技術講習会開催について

穂山教育委員から令和4年2月20日に基礎技術講習会の超音波検査、令和3年8月30日にフレッシュアップセミナー、JART主催講習会（開催科目、日程は後日決定）を開催することが提案された。審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

4. 編集：令和3年度RTJournal 発刊について

戸塚理事から本会会誌であるRTJournalの発刊について例年通り、年間2回発行することが提案された。編集、発送スケジュールについても協議を行った。審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

5. 執行部：令和3年度事業計画

木口会長より令和3年度事業計画について説明があった。例年通りの公益目的事業として（公1）体験活動・講演・相談等による県民への知識の普及啓発事業、（公2）研修、

セミナー等による放射線技術学の向上のための研修事業、（公3）放射線に関する情報を出版等により提供を行う事業を行うことが提案された。また、収益事業等として、（他1）会員に対する相互扶助事業、（他2）会員に対する表彰事業、関連団体との事業に参加・後援予定、会議の開催について説明があった。特に追加事項や質問もなく、審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

6. 財務：令和3年度予算計画について

森理事より令和3年度予算計画の報告があった。今年度の活動内容から網本行政書士に相談し、予算計画案を作成していただき、その内容について説明があった。今田監事、石田監事から今年度科目で挙げられている中で、次年度予算において予算化されず大きく額面が変わっている項目について質問があった。協議した結果、予算化されていない科目についても本年通りの予算計上に変更することになった。令和3年度予算計画について他に質疑なく、採決の結果、賛成多数で承認された。

7. 松川町事務所移転について

松川町事務所の移転について、事務所の老朽化や事務所環境、家賃等を考慮し、移転について協議してほしいとの提案が木口会長からあった。条件に適合した物件の有無や法人契約することが可能かなど検討事項であるとの意見があった。現在の事務所は、4月から翌3月の年間契約としているため、移転などの期間も含めて2か月程度は必要との意見があった。次回の更新時期にあわせて1年間を掛けて新しい物件について検討し、令和4年4月移転を目指すことが提案された。事務所移転について審議し採決の結果、賛成多数で承認された。登記のこともあり、必要な手続きなどについて網本行政書士と相談すること

とした。

また、昨年事務所整理を行い、使用されていない物品について整理をした。不要物品を廃棄物として処理することについて検討した。審議し採決の結果、賛成多数で承認された。廃棄処理に関しては、複数社から見積もりを作成して廃棄することになった。

8. 記念誌編集：70周年記念発刊について

今田監事より4月末を目安に発刊予定であったが、2、3か月程度遅れることについて今田70周年記念誌編集責任者から報告があった。今年度印刷、発送が間に合わないため、今年度予算での執行が難しい旨の報告があった。森理事から次年度の会計処理で問題ないという説明があった。次年度経費として会計処理について審議し採決の結果、賛成多数で承認された。今後の予定として6月頃に発刊、発送できるようにする。

以上をもって議事を終了したので、上記の決議を明確にするため、議長、議事録記録人、議事録署名人、監事は署名捺印をする。

令和3年3月21日

公益社団法人広島県診療放射線技師会

令和2年度 第5回 理事会

議長	木口 雅夫
議事録記載人	小鷹狩賢司
議事録署名人	穂山 雄次
議事録署名人	横町 和志
監事	石田 順一
監事	今田 直幸

理事	出席 17名	欠席 7名
監事	出席 2名	欠席 0名

令和2年度第6回理事会議事録

日時：令和3年5月16日(日)13:00～16:30

場所：広島大学病院 臨床管理棟3階
3F2会議室

議事録記載人 木坂 智香

議事録署名人 穂山 雄次・小鷹狩賢司

理事現在数 24人

出席理事 木口 雅夫・山口 裕之

中上 康次・戸塚 功二

穂山 雄次・森 美由紀

木坂 智香・本城 圭祐

小鷹狩賢司・山田 聖

三村 明生・横町 和志

池田 将敏・荒木 真吾

出席監事 石田 順一・今田 直幸

出席理事 14名

出席監事 2名

以上の通り、理事の過半数に相当する理事が出席したので、本理事会は適法に成立した。

よって当法人定款35条に基づき会長 木口雅夫は議長の席に着き開会を宣言し直ちに議事に入った。

議題

1. 年間計画（タイムスケジュール）の確認

木口会長より年間計画のタイムスケジュール表に沿って確認した。

2. 総務

穂山理事より資料配布され、会員動向について説明があった。森理事より入会者数は減少傾向、退会者数は例年通りとの補足説明があった。機械的に退会しないように退会申し出者には、今後の技師会の動向などを説明していく。

物故者が1名あり、ご家族からの申し出があったため当会で退会処理を行った。

3. 学術

山口副会長より第1回研修会開催についての報告があった。詳細は下記の通りである。

開催日時：令和3年6月27日(日)

13時00分～15時30分

開催場所：広島大学病院 臨床管理棟3階
大会議室

内容：

13:00～13:30

「コロナ禍における医療支援クラウド

-トリアージ外来を経験して-

霞クリニック 上田 英弘 先生

13:30～14:15

「水晶体の線量限度について -その引き下げと、DOSIRISの運用-

千代田テクノル 線量計測事業本部

14:30～15:30

「放射線診断医はここをみている -泌尿器・婦人科領域編-

広島大学病院 本田 有紀子 先生

定員:40名(定員に達した時点でWeb参加)

小鷹狩理事より現在の登録者数の報告があり、現地参加13名Web参加21名の合計34名であった。参加URLのメール配信は、1週間前までに行うように指示があった。

小鷹狩理事から千代田テクノルの講演についてWebによる講演でも良いかとの確認があった。山口副会長からの説明で、第3回研修会で上田会長の講演で実施済みであるため問題ないことが確認された。参加者は、SNSなどでの広報は行わず、広島県内の放射線技師を対象とすることになった。

4. 教育委員

穂山理事より中四国地域のJART関連事業計画、基礎技術講座の開催計画の報告があった。広島県は、超音波検査を令和4年2月20日に広島大学病院で開催する。確認試験があるため必ず現地開催する。

放射線管理士、放射線機器管理士、医療

画像情報精度管理士、臨床実習指導員、放射線被ばく相談員の講習会について講習はe-learningで実施する。試験の日程は下記の通りである。

- ・令和3年度第1回認定資格試験
令和3年8月29日（日）愛媛県
- ・令和3年度第2回認定資格試験
令和4年1月30日（日）岡山県

5. 企画

中上副会長よりレントゲン週間準備状況について報告があり、担当理事の協力により順調に新規ポスターを作成中である。今後の予定として6月中に中上副会長が最終確認後、7、8月に完成予定である。

今年度からレントゲン週間の実行委員長に小村理事を任命された。

木坂理事からレントゲン週間イベント会場予約状況の報告があった。当初予定していた11月3日の会場確保が難しく、第2候補日である令和3年11月28日（日）シャレオ中央広場の開催が決定した。

コロナ禍でのレントゲン週間の企画について、ブレインストーミングを用いて出し合っていく（企画担当理事がまとめる）。

6. 編集

戸塚理事よりRT-Journalの発刊、編集状況についての説明があった。先週金曜日（5月14日）校正終了し、初校原稿を受取った。複数の方からは校正をいただいている。今後は、5月末印刷、6月発送の予定である。

収支決算報告書ができた時点で委任状発送する（あらかじめ印刷しておき、直ぐに発送できるように準備する）。

写真掲載については、第3回研修会（福山）がWeb開催であったための写真を持ち合わせていない。三村理事に問い合わせるなど対応していく。今後、Web開催の場合でも、講師の画面キャプチャなどで記録として

残していく。

7. 広報

横町理事よりホームページ掲載、メールマガジン発行について報告があった。今井理事がこまめにホームページを更新して順調に運営できている。

メールマガジンは、月1ペースで配信できている。メールマガジンに掲載希望する場合は、横町理事に連絡する。急ぎの対応も臨時として配信する。メールマガジンの登録者は、現在701名（会員数785名）で多くの会員に登録してもらっている。

荒木理事よりホームページの求人情報掲載について掲載期限についての質問があった。求人掲載規約としては、採用が決定され次第当会へ連絡し、削除する。採用報告があったものは、掲載を取り下げているが、報告がないものは継続して掲載している。今後、掲載期限は半年とし、継続して掲載を希望する場合は、再度申し出てもらうように依頼する。求人情報を掲載した旨を依頼元に報告する際に、採用者決定後の連絡、掲載期間、再掲載の依頼などについて通知することとなった。

8. 福利厚生

荒木理事よりソフトボール開催について報告があった。緊急事態宣言につき5月30日開催予定だったソフトボール大会は中止し、参加を予定していたチーム代表者に連絡した。中止決定前から参加チームの過半数（10チームほど）は辞退の連絡があった。参加チームが少ないと大会が成立しないので、次回開催時もコロナ禍であれば、時前に参加チームに連絡して参加の有無を確認後に開催を決定した方が良いかもしれない。

9. 支部活動

支部活動計画について出席している支部理事から年間計画の報告があった。予定は下記

の通りである。

- ・中央支部（三村理事）12月頃、Webまたはハイブリッドで開催予定。
- ・南東安芸支部（横町理事）11月、12月頃、Webまたはハイブリッドで開催予定。
- ・西部支部（池田理事）8月22日ハイブリッド開催予定。
- ・北部支部（安井理事）Web開催予定（代木口）。
- ・呉支部（山本理事）8月に予定していた勉強会は延期になった（代木口）。
- ・東広島支部（荒木理事）12月か1月頃に開催予定。
- ・尾三・福山支部（畑山理事）第4回研修会として2月11日開催予定（代木口）。
- ・北西山県（富久理事）欠席のため報告はなし。

研究会と併催が難しい場合は、支部単独で研修会を開催するよう要請している。

支部研修会のJARTポイント申請について本城理事から質問があった。木口会長から申請出来るものは申請していただきたいとの回答があった。

小鷹狩理事より講師依頼状や謝状やなどの書類は支部事で行った方がいいかとの質問があった。木口会長から定期研修会同様に学術担当理事の方で一括管理をお願いした。小鷹狩理事以外の学術担当理事で割り振り、負担を分散させるように指示があった。

10. 財 務

森理事より財務状況について報告があった。概要として、会費収入は未納会費50万円のうち前年度の未払い会費33万円を回収した。2年を越える会費未納による除籍者10名、未納転出者1名であった。最終的な年会費の未納者は、2019年度6名、2020年度38名であった。本年度は退会申請時に会費納入を促すことで、未収退会者は1名にとどめることができた。

収支は概算で、収入が850万円で支出が710万円であった。決算処理はまだ完了しておら

ず、差益140万円の内どの程度が遊休財産となるか等の詳細は後日連絡する。

前回理事会で承認されたWebセミナーで使用する機材購入（マイクやパソコン）について横町理事の方で見積もりを取り購入を進める。広島大学病院で管理保管する。

事務所のパソコンも購入については、インターネット環境も整備が必要なため、事務所移転時に更新したが良いとの意見があり、引き続き検討していく。

11. 連盟支部：連盟活動について

中上副会長より令和3年9月に衆議院議員選挙（予定）の説明があった。連盟でWebによるタウンミーティングを毎月1回開催している。今田監事から選挙区は中国ブロックなので広島のみならず島根県、鳥取県にも参加要請してほしいとの意見があった。

寄附金については、本会からの日本診療放射線技師連盟への寄附金は、問題があるため個人で寄附をすることになった。

(審議事項)**1. 総務**

本年度5月15日までの入会者について穂山理事から報告があった。入会者は下記の4名であった。

本田尚輝（シムラ病院）、佐古智也（府中北市民病院）、飯尾勇哉（広島赤十字・原爆病院）、入江優（亀川病院）

入会者について審議し賛成多数で承認された。

2. 学術

第2回研修会、マネジメント研修会について山口副会長から説明があった。研修会開催について審議し賛成多数で承認された。

・第2回研修会

令和3年10月31日、広島大学病院カンファレンスルーム2（たんぼほ保育園2階）

・マネジメント研修会

令和3年9月25日、広島大学病院カンファレンスルーム2（たんぼほ保育園2階）

3. 教育委員

小鷹狩理事より令和3年度フレッシュャーズセミナー開催について説明があった。

令和3年8月29日（日）広島大学病院大会議室で開催する。開催方法について、現地開催またはWeb開催について検討した。木口会長より新人入会促進とともに参加者間の交流の意味合いも含まれているため現地開催を希望するとの意見があった。前回のアンケートからも参加者から横のつながりを作りたいとの回答があった。今年度は、参加者名簿を作成し配布する、受講者の自己紹介時間を設けるなどの提案があった。

小鷹狩理事より研修項目に追加あり「被ばく低減」が必須であることの報告があった。木口会長より気管支解剖の講演の中で後半に被ばくの事も話しているとの報告があった。このため新たに設けず木口会長の講演時間を増やして対応提案があった。

穂山理事より令和3年度基礎技術講習会（超音波検査）開催について説明があった。

・基礎技術講習会（超音波検査）

令和4年2月20日（日）広島大学病院大会議室 三村明生理事、今田監事と相談して早めに講師を選定していくことになった。

フレッシュャーズセミナー、基礎技術講習会（超音波検査）についての提案事項について審議し賛成多数で承認された。

4. 編集

戸塚理事より令和3年度RT-Journal発刊についての説明があった。12月初旬にRT-Journal56号発行予定であり、原稿を10月までに入稿してほしいとの要請があった。掲載内容として学術、施設紹介、広島県診療放射線技師会研修会の内容を予定している。また、新たなコンテンツを提案してほしいとの依頼があった。山口副会長より他県の会誌を参考にしてみてもとの意見があった。また、木口会長より企業に新規装置などの製品紹介など投稿してもらうよう依頼するなどの意見があった。

広告協賛については依頼を7月末までの早めにしていただくように要請があった。

編集についての提案事項について審議し賛成多数で承認された。

5. 執行部

木口会長より令和2年度事業報告について説明があった。70周年記念事業費の使用について森理事に確認をして記載事項の一部訂正を行った。今田監事より「情報公開」の記載が重複しているため「更新回数」を変更するように指摘があった。

松川町事務所移転については、中上副会長が担当し、9月までに情報収集して報告するように木口会長から依頼があった。

令和2年度事業報告、松川町事務所移転について審議し賛成多数で承認された。

6. 財 務

森理事より最終決算報告は、外部会計事務所から書類が返ってきていないため後日メールにて送付し、理事の承認を得ることになった。

木口会長から理事会経費についての提案があった。理事会を開催した際に理事に支払われるのは交通費のみの支給である。会議の際には、3～4時間時間拘束があり、理事会以外でも自宅などで会務をされている理事も多くいる。交通費とは別にJARTや他団体で支払われている2千円程度の雑費支払いについての提案があった。諸規定の変更が必要で理事会承認事項であることを確認した。理事会開催時の雑費支払いについて審議し採決の結果、賛成多数で承認された。

7. 監 事

石田監事、今田監事より令和2年度の本会の事業運営、決算報告についての所感が述べられた。石田監事からは、令和2年度は多くの研修会が中止となり会計処理が大変であった。公益比率を維持することが必要ではあるが、器材の補充などが過度に多くなりすぎないようにし、支部研修事業などを積極的開催していただきたいとの意見があった。

今田監事からは、会計の透明性が上がったとの印象を伝えられた。また、決算報告の遅れ、状況についての質問があった。森理事から会計事務所から回答がないことが報告された。今田監事からは、総会委任状発送の関係上5月中に収支状況を報告してほしいとの指示があった。

8. 70周年記念誌編集

今田監事より70周年記念発刊について説明があった。中本本店には、会計年度処理については、次年度に繰り越しすると伝えている。原稿の集まりが悪いため5月末に原稿入稿締切り、6月中に校正、総会後に発送予定

としている。

9. その他

今田監事より必須の統一講習会について、受講しない診療放射線技師の取扱いについて質問があった。木口会長から今回は必須講習で診療放射線技師は全員が受講する必要があるため、未受講者については検討していないとの回答があった。

今田監事より日本診療放射線技師会会費の減額にあたって広島県診療放射線技師会会費も減額検討について提案があった。本会会費の減額について61歳から減額対象とすることを検討することになった。定款改訂が必要になるため、来年度の理事会で協議し、総会決定事項になる。

以上をもって議事を終了したので、上記の決議を明確にするため、議長、議事録記録人、議事録署名人、監事は署名捺印をする。

令和3年5月16日

公益社団法人広島県診療放射線技師会
令和2年度 第6回 理事会

議 長	木口 雅夫
議事録記載人	木坂 智香
議事録署名人	穂山 雄次
議事録署名人	小鷹狩賢司
監 事	石田 順一
監 事	今田 直幸

理事	出席	14名	欠席	10名
監事	出席	2名	欠席	0名

令和2年度 公益社団法人広島県診療放射線技師会 定時総会

次 第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事運営委員選出
5. 議事
 - 1) 令和2年度 事業報告
 - 2) 令和2年度 庶務報告
 - 3) 令和2年度 決算報告
 - 4) 令和2年度 監査報告
 - 5) 令和3年度 事業計画
 - 6) 令和3年度 予算計画
 - 7) その他
6. 議長団解任
7. 表彰
 - 1) 石井賞
 - 2) 槇殿賞
 - 3) 奨励賞
8. 閉会の辞

公益社団法人 広島県診療放射線技師会 令和2年度事業報告

総 括

令和2年3月に新型コロナ感染者が広島県で確認されて1年以上が経過しました。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、感染に遭われた皆さまに対して心よりお見舞い申し上げます。また、依然として感染の鎮静化が見みえず逼迫する医療最前線において、治療や感染予防に献身的に取り組まれている会員を含めた医療従事者の皆さまに対し、心から感謝と敬意を表します。

令和2年度は、本会の事業もコロナ禍の影響を受け、研修事業の開催中止や開催規模を小さくせざるを得ない状況でした。事業計画で予定していた年4回の研修会のうち第1回は、十分な感染予防ができないこともあり、会員、講師の安全性を考慮して中止することになりました。講演準備をしていただいていた講師の先生方には、改めてお詫び申し上げます。

第2回研修会は、3密にならないように広い会場の確保、参加人数の制限、事前参加登録、講演時間の短縮、会場・参加者の感染予防策、体調チェックなど今まで以上の準備を講じて開催に至りました。事後アンケートでは、十分なソーシャルディスタンスが保たれていなかったなどのご意見もいただき、次回研修会開催のための教訓としました。

第3回研修会は、日本診療放射線技師会上田克彦会長にお越しいただきご講演をいただく予定でしたが、直前に緊急事態宣言が発令されたため、来広が難しくなりました。急遽、Web会議システムを使用して広島と東京からご講演をいただき、広島会場聴講とWeb配信（ZoomとYouTube）のハイブリッドタイプで開催しました。IT関連機器の整備、リハーサルなど十分に準備して対応いただき、トラブルもなく無事に終えることができました。

第4回研修会は、ウェビナーを使ったWeb配信のみで県内外の講師の先生にご講演いただきました。今回はSNSで広報したこともあり、全国に

公開することになりました。非会員にも無料で参加可能としたため、全国から171名（県外36名）にご参加いただきました。Web開催は、移動することなく参加できるため多くの方が参加しやすいというメリットもありますが、非会員から参加費を徴収しないことは会員としてのメリットがなくなっている（非会員との差別化ができていない）という問題も生じてしまいました。

この度試験的に導入したウェビナー（Web研修会）は、会場準備が必要ない、広い会場を確保する必要がない、遠方から参加する場合は移動手段の確保や移動が必要ない、インターネット環境がある場所ならどこでも参加可能といったメリットがありました。しかしながら、講師が参加者の満足度・理解度を確認しながら講演できる、聴講者は直接質問できるなど双方向によるコミュニケーションが可能になる、講演後にも気軽に講師に伺うことができるということが不可能になります。ウェビナーの継続も含めて、今後会員の皆さまに十分なメリットがある開催形態になるように役員の方で協議して参ります。毎回研修会開催において臨機応変にご対応いただきました理事には感謝申し上げます。

令和元年度に予算執行を予定していた創立70周年事業の繰越となった積立金は、創立75周年記念事業費用として組み入れました。

業務拡大に伴う統一講習会が、前年度に終了したこともあり、日本診療放射線技師会主催の基礎技術講習会も平成28年以来5年ぶりに開催することができました。

コロナ禍において移動制限や研修会参加禁止など十分に本会を活用できない会員も多くいたものと思います。開催側も多く困難がありました。改めましてイベント開催スタッフとして参加いただいた会員の皆さま、本会事業展開にご尽力いただきました役員の方々には心より感謝申し上げます。

事業内容の詳細は、次に示す通りとなります。

公益目的事業

公1. 体験活動・講演・相談等による県民への知識の普及啓発事業

・体験活動

令和2年11月3日（火・祝）にシャレオ中央広場（広島市）にてレントゲン週間イベントを開催した。新型コロナ感染拡大の影響もあり、例年より人出が少なく、イベントに立ち寄られる人も全体的に少なかった。今回、「がん検診へ行こうよ」推進会議の後援いただき、デーモン閣下の大型スクリーンやのぼりは、遠方からも認識が良く、がん検診推進のイベントであることが認識された。

がん検診のパネル掲示は、分かり易く説明されていることもあって、来場された方にも検診の重要性や早期発見によりがん死亡を減少させることについて理解されたものと思われる。マンモグラフィコーナーは、一番多くの方に訪れていた。実際の乳がんのX線写真や乳がんシミュレータ（触診モデル）を実際に体験していただき、乳がんを早期発見するためにもセルフチェックや検診が重要であることを十分に説明した。

・相談活動

レントゲン週間イベントにおいて、放射線検査や医療被ばくに関する相談を随時受付分かりやすく説明した。

公2. 研修、セミナー等による放射線技術学の向上のための研修事業

研修会事業

・第1回研修会

日時：令和2年6月28日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・第2回研修会

日時：令和2年9月27日（日）

開催場所：広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

1. 「胸部エックス線のちょっといいお話」
JA広島総合病院 田丸 隆行 先生

2. 「新型コロナウイルス感染症患者の撮影を経験して」

広島大学病院 友安 美沙 先生

3. 「線量管理どうやってますか？～医療法改正後の現状と課題～」

県立広島病院 須藤 優 先生

4. 「MRI安全運用のために～当院における取り組み～」

広島赤十字原爆病院 大胡 文彦 先生

・第3回研修会

日時：令和3年1月16日（土）

開催：（会場）TKP広島駅前大橋 ホール
5A、（配信）Zoomミーティング、YouTube

1. 「COVID-19と救急・集中治療」

広島大学病院 高度救命救急センター
京 道人 先生

2. 「日本診療放射線技師会の今後と目指すべき将来像」

公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長
上田 克彦 先生

・第4回研修会

日時：令和3年2月11日（木・祝日）

開催：Zoomウェビナー

1. 「COVID-19患者撮影の対応」

中国中央病院 大原 健佑 先生

2. 「みんなで学ぼう新型コロナウイルスの対応 - 福山市民病院での対策 -」

福山市民病院 栗江 卓巳 先生

3. 「救急CTカンファ@Zoom～救急CTにまつわるエトセトラ～」

名古屋第二赤十字病院 大保 勇 先生

4. 「サクッとわかる線量測定」

福山市民病院 下江 亘 先生

5. 「やっぱり読影補助じゃろ！～読影の補助の方向性～」

昭和大学大学院 加藤 京一 先生

・マネジメント研修会

日時：2020年10月31日（土）

開催場所：広島大学病院 臨床管理棟3階
大会議室

1. 「人財育成と組織の育成」

広島大学病院 山崎 真一 先生

2. 「診療放射線技師の働き方改革」

特定社会保険労務士・医療労務コンサルタント
宮崎 杏子 先生

3. 「日本診療放射線技師連盟のご案内」
日本診療放射線技師連盟 中上 庚次 先生

・MR検査研修会

「第5回 MRの基礎を学ぼう！Web開催」

日時：令和3年2月11日（木・祝）

開催：Zoomウェビナー

1. MRの原理：パルスシーケンス
広島赤十字・原爆病院 大胡 文彦 先生
2. 撮像技術：各種撮像法の特徴
広島大学病院 高橋 佑治 先生
3. 臨床①：脳神経領域
広島大学病院 穂山 雄次 先生
4. MRの安全性：体内金属の対応
広島平和クリニック 長谷川 俊輔 先生
5. アーチファクトの原因と対策
本永病院 桑原 英生 先生
6. 臨床②：体幹部・四肢領域
土谷総合病院 野中 春輝 先生

・広島県放射線技師会消化管研修会・ エコー研修会（エコー塾）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・支部開催研修会

内容については、支部活動報告に記載

- ・福山支部・尾三支部（東部地区）
東部地区診療放射線技師会研修会は、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

令和2年度 第4回 広島県診療放射線技師会研修会と併催

日時：2021年2月11日（木・祝日）

開催：Zoomウェビナー

- ・広島中央支部、北西山県支部、南東安芸支部、西部支部、北部支部、呉支部、東広島支部

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

公3. 放射線に関する情報を出版等により提供を行う事業

会誌発行 2回

研修会案内・お知らせ 6回

メールマガジン発刊 13回

ホームページ情報提供・情報更新 41回

・収益事業

なし

・表彰事業

石井賞 1名

榎殿賞 1名

奨励賞 6名

・互助会事業

結婚祝い 16件

出産祝い 9件

弔慰金 5件

会議の開催

広島県診療放射線技師会理事会

- ・第1回理事会 6月28日（日）

TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前 カンファレンスルーム3B

- ・第2回理事会 8月1日（日）

広島大学病院 臨床管理棟 3F2会議室

- ・第3回理事会 10月31日（土）

広島大学病院 臨床管理棟 大会議室

- ・第4回理事会 12月5日（日）

広島大学病院 臨床管理棟 2F2会議室

- ・第5回理事会 3月13日（日）

広島大学病院 臨床管理棟 3F2会議室

- ・第6回理事会 5月16日（日）

広島大学病院 臨床管理 3F2会議室

庶務報告

1) 会員増減状況

会員種別	令和2年 3月31日	増				減					令和3年 3月31日
		新入会	再入会	転入	計	退会	転出	除籍	死亡	計	
名誉会員	0										0
正会員	785	17		2	19	22	1	10 ^{注)}	0	33	771

注) 日本診療放射線技師会「入退会等会員籍の管理に関する規定」第10条により3年間の会費未納により除籍扱いになった人数

2)

総会	令和2年6月28日	TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前
研修会	第1回 令和2年6月28日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	第2回 令和2年9月27日	広島大学病院
	第3回 令和3年1月16日	TKPガーデンシティ広島駅前大橋 Zoomミーティング、YouTube
	第4回 令和3年2月11日	Zoomウェビナー
社会活動		
レントゲン週間イベント	令和2年11月3日	シャレオ中央広場
理事会	第1回 令和2年6月28日	TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前
	第2回 令和2年8月1日	広島大学病院
	第3回 令和2年10月31日	広島大学病院
	第4回 令和2年12月5日	広島大学病院
	第5回 令和3年3月13日	広島大学病院
	第6回 令和3年5月16日	広島大学病院
ソフトボール大会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
広島県診療放射線技師会誌	RTJournal	2回発行
	研修案内・お知らせ	6回発行
	メールマガジン	13回発行
	ホームページ更新回数	41回

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,033,099	4,135,355	897,744
未収会費	440,000	600,000	-160,000
未収入金	0	30,000	-30,000
仮払金	0	0	0
流動資産合計	5,473,099	4,765,355	707,744
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
(2) 特定資産			
75周年記念事業積立資産	2,115,000	1,794,118	320,882
80周年記念事業積立資産	800,000	300,000	500,000
(3) その他固定資産			
敷金	330,000	330,000	0
固定資産合計	5,245,000	4,424,118	820,882
資産合計	10,718,099	9,189,473	1,528,626
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	147,370	106,188	41,182
預り金	6,336	0	6,336
2 固定負債	0	0	0
負債合計	153,706	106,188	47,518
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	8,564,393	7,083,285	1,481,108
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,094,118)	(5,000,000)	-2,905,882
正味財産合計	10,564,393	9,083,285	1,481,108
負債及び正味財産合計	10,718,099	9,189,473	1,528,626

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	3,185,048	1,226,360	621,691	5,033,099
未収会費	440,000	0	0	440,000
流動資産合計	3,625,048	1,226,360	621,691	5,473,099
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	0	2,000,000	0	2,000,000
(2) 特定資産				
75周年記念事業積立資産	1,950,000	0	165,000	2,115,000
80周年記念事業積立資産	700,000		100,000	800,000
(3) その他固定資産				
敷金	198,000	0	132,000	330,000
固定資産合計	2,848,000	2,000,000	397,000	5,245,000
資産合計	6,473,048	3,226,360	1,018,691	10,718,099
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	138,212	9,158		147,370
預り金	4,866	0	1,470	6,336
2 固定負債	0	0	0	0
負債合計	143,078	9,158	1,470	153,706
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
寄付金	0	2,000,000	0	2,000,000
指定正味財産合計	0	2,000,000	0	2,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	2,000,000	0	2,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
2 一般正味財産	6,329,970	1,217,202	1,017,221	8,564,393
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	2,650,000	0	265,000	2,915,000
正味財産合計	6,329,970	3,217,202	1,017,221	10,564,393
負債及び正味財産合計	6,473,048	3,226,360	1,018,691	10,718,099

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100	300	-200
受取会費			
正会員受取会費	7,640,000	7,630,000	10,000
事業収益			0
研修会参加費収益	0	119,000	0
会誌広告掲載収益	580,000	580,000	0
受取補助金等			0
広島県補助金収益	70,000	70,000	0
受取寄附金			0
受取寄附金	0	0	0
雑収益			0
受取利息	124	20	104
JART受託利益	215,529	0	215,529
雑収益	20,000	504,799	-484,799
経常収益計	8,525,753	8,904,119	-259,366
(2) 経常費用			
事業費	(4,476,747)	(6,857,457)	-(2,380,710)
給与手当	200,000	170,000	30,000
福利厚生費	133,477	88,640	44,837
旅費交通費	104,060	380,440	-276,380
通信運搬費	301,832	292,794	9,038
消耗品費	80,833	38,903	41,931
印刷製本費	1,847,560	1,819,660	27,900
賃借料	912,780	908,940	3,840
諸謝金	283,580	580,976	-297,396
表彰費	114,934	95,965	18,969
支払手数料	34,579	18,487	16,092
支払負担金	0	30,000	-30,000
支払寄附金	0	30,000	-30,000
交際費	0	53,375	-53,375
会議費	5,280	100,382	-95,102
支払会費	245,200	232,900	12,300
貸倒会費	212,000	140,000	72,000
雑費	632	58,881	-58,249
70周年記念事業費			
旅費交通費	0	195,510	-195,510
通信運搬費	0	72,512	-72,512
消耗品費	0	37,770	-37,770
印刷製本費	0	19,440	-19,440
広告宣伝費	0	734,250	-734,250
賃借料	0	669,300	-669,300
支払手数料	0	1,225	-1,225
会議費	0	2,808	-2,808
雑費	0	84,300	-84,300
管理費	(2,567,898)	(4,244,263)	-(1,676,365)
給与手当	331,000	334,000	-3,000
旅費交通費	240,290	340,430	-100,140
通信運搬費	137,578	158,503	-20,925
消耗品費	154,759	52,461	102,298
修繕費	58,700	90,160	-31,460
印刷製本費	154,000	271,604	-117,604
賃借料	11,880	145,908	-134,028
光熱水料費	39,784	54,087	-14,303
地代家賃	660,000	660,000	0
交際費	34,668	37,705	-3,037
会議費	40,049	28,614	11,435
租税公課	21,000	21,600	-600
支払報酬料	601,470	579,458	22,012
支払手数料	3,510	3,706	-196
支払寄附金	70,000	80,000	-10,000
雑費	9,210	0	9,210
70周年記念事業費			
旅費交通費	0	8,800	-8,800
通信運搬費	0	15,400	-15,400
消耗品費	0	17,605	-17,605
印刷製本費	0	16,151	-16,151
賃借料	0	32,500	-32,500
交際費	0	361,230	-361,230
支払手数料	0	912,115	-912,115
会議費	0	18,860	-18,860
雑費	0	3,366	-3,366
経常費用計	7,044,645	11,101,720	-4,057,075
当期経常増減額	1,481,108	-2,197,601	3,678,709
2. 経常外収益の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,481,108	-2,197,601	3,678,709
一般正味財産期首残高	7,083,285	9,280,886	-2,197,601
一般正味財産期末残高	8,564,393	7,083,285	1,481,108
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,564,393	9,083,285	1,481,108

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益事業等会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	その他共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産受取利息					0		100		100			100
受取会費									0			0
正会員受取会費	680,000	700,000	1,000,000	1,440,000	3,820,000	150,000	130,000	970,000	1,250,000	2,570,000		7,640,000
事業収益					0				0			0
研修会参加費収益					0				0			0
会誌広告掲載収益			580,000		580,000				0			580,000
受取補助金等					0				0			0
広島県補助金収益		70,000			70,000				0			70,000
雑収益					0				0			0
受取利息				103	103				0	21		124
JART受託収益		215,529			215,529				0	0		215,529
雑収益	0	0	0	20,000	20,000				0	0		20,000
経常収益計	680,000	985,529	1,580,000	1,460,103	4,705,632	150,000	130,100	970,000	1,250,100	2,570,021		8,525,753
(2) 経常費用												
事業費												
給与手当				200,000	200,000				0			200,000
福利厚生費					0	133,477	0	0	133,477			133,477
旅費交通費	89,000	15,060	0		104,060				0			104,060
通信運搬費	0	298,678	2,604	0	301,282	550	0	0	550			301,832
消耗品費	59,624	20,307	0	0	79,931		902		902			80,833
印刷製本費	10,050	51,330	1,786,180	0	1,847,560				0			1,847,560
賃借料	602,800	309,980	0	0	912,780				0			912,780
諸謝金	0	283,580	0	0	283,580				0			283,580
表彰費					0	0	114,934	0	114,934			114,934
支払手数料	1,100	25,929	880	5,830	33,739	840	0	0	840			34,579
支払負担金	0	0	0	0	0				0			0
支払寄附金					0			0	0			0
交際費	0	0	0		0				0			0
会議費	0	5,280	0		5,280				0			5,280
支払会費	0	0	0	245,200	245,200				0			245,200
貸倒会費	0	0	0	212,000	212,000				0			212,000
雑費	0	535	0	0	535	97			97			632
管理費												
給与手当										331,000		331,000
旅費交通費										240,290		240,290
通信運搬費										137,578		137,578
消耗品費										154,759		154,759
修繕費										58,700		58,700
印刷製本費										154,000		154,000
賃借料										11,880		11,880
光熱水料費										39,784		39,784
地代家賃										660,000		660,000
交際費										34,668		34,668
会議費										40,049		40,049
租税公課										21,000		21,000
支払報酬料										601,470		601,470
支払手数料										3,510		3,510
支払寄附金										70,000		70,000
雑費										9,210		9,210
経常費用計	762,574	1,010,679	1,789,664	663,030	4,225,947	134,964	115,836	0	250,800	2,567,898		7,044,645
当期経常増減額	-82,574	-25,150	-209,664	797,073	479,685	15,036	14,264	970,000	999,300	2,123		1,481,108
2. 経常外収益の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額					427,720				-427,720			0
当期一般正味財産増減額					907,405				571,580	2,123		1,481,108
一般正味財産期首残高					5,422,565				645,622	1,015,098		7,083,285
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	6,329,970				1,217,202	1,017,221		8,564,393
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000	0		2,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000	0		2,000,000
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	6,329,970	0	2,000,000	0	3,217,202	1,017,221		10,564,393

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産－定率法による。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小 計	2,000,000	0	0	2,000,000
特定資産				
75周年記念事業積立資産	1,794,118	320,882	0	2,115,000
80周年記念事業積立資産	300,000	500,000		800,000
小 計	2,094,118	820,882	0	2,915,000
合 計	4,094,118	820,882	0	4,915,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳等

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(－)
小 計	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(－)
特定資産				
75周年記念事業積立資産	2,115,000	(0)	(2,115,000)	(－)
80周年記念事業積立資産	800,000	(0)	(800,000)	(－)
小 計	2,915,000	(0)	(2,915,000)	(－)
合 計	4,915,000	(2,000,000)	(2,915,000)	(－)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成29年度医療技術者研修事業補助金	広島県	0	70,000	70,000	0	－
合 計		0	70,000	70,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているので省略
2. 引当金の明細
特にありません。

財産目録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金	182,782
	預金	普通預金 ゆうちょ銀行	運転資金	1,218,881
	預金	普通預金 広島銀行 駅前支店	運転資金	2,380,758
	預金	普通預金 三菱UFJ信託銀行 広島中央支店	収益事業等会計（その他の事業2 横殿賞・石井賞） に使用	71,717
	預金	定期預金 広島銀行 広島東支店	運転資金	1,030,887
	預金	普通預金 広島銀行 駅前支店	運転資金	148,074
	未収会費	会員からの収入	会費未収入金	440,000
流動資産合計				5,473,099
(固定資産)				
基本財産	定期預金	定期預金 三菱UFJ信託銀行 広島中央支店	基本財産であり、運用益を収益事業等会計（その他の事業2 横殿賞・石井賞）に使用している。	2,000,000
特定資産	75周年記念事業 積立資産	通常貯金 ゆうちょ銀行 広島貯金事務センター 普通預金 広島銀行 駅前支店	特定費用準備資金として2024年度75周年記念事業事業費への充当を指定して会費収入から積み立てている資産である。共用財産であるため、別表C（5）特定費用準備資金での配賦割合により、下記のとおり按分している。 内¥1,950,000－は公益目的事業会計に按分 内¥165,000－は法人会計に按分	2,115,000
	80周年記念事業 積立資産	通常貯金 ゆうちょ銀行 広島貯金事務センター	特定費用準備資金として2029年度80周年記念事業事業費への充当を指定して会費収入から積み立てている資産である。共用財産であるため、別表C（5）特定費用準備資金で、すべて公益事業会計に配賦 内¥700,000－は公益目的事業会計に按分 内¥100,000－は法人会計に按分	800,000
その他固定資産	敷金	広島市南区松川町1-15 事務所 17.82平方メートル賃借	主たる事務所の敷金 共用財産であるため、使用の割合により下記のとおり按分している。 60%（¥198,000－）は公益目的事業会計に按分 40%（¥132,000－）は法人会計に按分	330,000
固定資産合計				5,245,000
資産合計				10,718,099
(流動負債)				
	未払金	水料光熱費、通信運搬費、給与手当	水料光熱費、通信運搬費及び給与手当の未払い（公益目的事業会計）	147,370
	預り金	源泉所得税	源泉所得税	6,336
流動負債合計				153,706
負債合計				153,706
正味財産				10,564,393

監査報告書

令和3年6月4日

公益社団法人広島県診療放射線技師会

会長 木口 雅夫 様

公益社団法人広島県診療放射線技師会

監事 石田 順一 印略

公益社団法人広島県診療放射線技師会

監事 今田 直幸 印略

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各理事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な採決書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びそれらの附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

1. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書類並びに監査結果

1. 計算書類及びその附属明細書類並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。
2. 決算報告は収支相償が若干のプラスになっているが、当該年度がコロナ禍の状況にあることを鑑み事業の縮小は避けがたく、次年度において公益目的事業に充てる等の計画を立てることが望ましいと考えます。

以上

公益社団法人 広島県診療放射線技師会 令和3年度事業計画

総 括

令和2年度は、本会の事業もコロナ禍の影響を受け、中止や開催規模を小さくせざるを得ない状況でした。令和3年度には、十分な感染拡大防止対策を講じて例年同様に事業実施に向けて計画していきます。

今年度は、医師の働き方改革に係わる医療法の一部改正（令和3年6月予定）により、タスクシフトが大きく進み、私たち診療放射線技師に新たな業務拡大が行われる予定です。追加される業務拡大に対応するために知識や技能が必要となり、診療放射線技師の法的な資格更新が伴われます。全ての診療放射線技師免許保有者は、受講が義務付けられる「告示研修（義務研修）」を受講することが必須になります。日本診療放射線技師会が、「厚生労働大臣が指定する研修」を実施することとなり、広島県診療放射線技師会が県内で研修事業を行っていく予定です。状況が分かり次第、広報を通じてお知らせいたします。

広島県診療放射線技師会の事業は、基本となる研修会を例年通り年間4回開催いたします。他研修会として、技能研修会であるMR基礎研修会、消化管撮影技術研修会（2回）、エコー研修会（エコー塾）、各支部単位の研修会を開催します。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの技能研修会や各支部研修会は開催ができませんでした。本年度は、Webセミナーシステムなどを併用して多くの会員が参加いただけるように実施に向けて計画したいと思います。マネジメント研修会も主任・技師長など管理職の能力開発・向上のために引き続き開催いたします。医療関連団体等との交流や連携を継続するために関連学術団体、研究会のセミナー、イベントの後援や支援にも積極的に協力していきます。

本会主催の活動として、本会ならびに診療放射線技師の活動を一般の県民市民の方々に発信するために、市民公開講座やレントゲン週間イベント（シャレオ中央広場等）を開催し、被ばく相談や

県民へのがん検診促進のための啓発活動を行います。

また、広島県主導の「がん検診へ行こうよ」推進会議のキャンペーン活動、広島県医師会主導の「21世紀、県民の健康とくらしを考える会」、乳がん検診の啓発のためにピンクリボン活動にも積極的に参画していきます。

以上

事業項目

1. 公益目的事業

公1. 体験活動・講演・相談等による県民への知識の普及啓発事業

体験活動・相談として公共のスペース（シャレオ中央広場・予定）においてレントゲン週間イベントを10～11月頃に開催予定する。被ばく相談、乳がん検診の啓発活動、骨密度測定体験、各種放射線医療のパネル展示、正しい医療放射線の理解を啓発するパネル展示、広島県「がん検診へ行こうよ」キャンペーンのがん検診アピール、などを企画する。

「21世紀、県民のくらしを考える会」（広島県医師会）への参画協力予定する。ピンクリボン活動への参加協力を予定する。

公2. 研修、セミナー等による放射線技術学の向上のための研修事業

学術向上のための研修事業として定例の研修会ならびに技能研修会を企画する。

【広島県診療放射線技師会研修会】

・第1回

2021年6月27日（日）広島大学病院

・第2回

2021年10月31日（日）広島大学病院

- ・第3回
2022年1月15日（土）学術大会（会員発表）、市民公開講座
会場 TKP広島駅前大橋 予定
- ・第4回
2022年2月11日（金・祝）福山市
医師会館 予定

【マネジメント研修会】

2021年9月25日（土）広島大学病院

【広島県放射線技師会消化管研修会】

2021年7月、2022年3月、2回開催
予定

【エコー塾・ハンズオン研修会】

2021年度 1～2回開催予定

【MR基礎研修会】

2022年3月 広島大学病院 予定

日本診療放射線技師会からの委託事業

- ・フレッシューズセミナー
2021年8月29日（日）広島大学病院
- ・基礎技術講習会（超音波検査）
2022年2月20日（日）広島大学病院

公3. 放射線に関する情報を出版等により
提供を行う事業

- ・会誌2回発行（春・秋）
- ・ニュースレターまたはお知らせ
2～3回発行（予定）
- ・メールマガジンによる研修会等の情
報提供（12回）
- ・ホームページによる情報提供・情報
公開（随時）

2. 収益事業等

その他の事業

他1. 会員に対する相互扶助事業

会員の慶弔（御祝、香典、電報、
花輪など）

他2. 会員に対する表彰事業

石井賞 1名
楨殿賞 1名
奨励賞 5名

※該当者がいない場合は、表彰は
行わない（受賞者なし）場合に
なります。

3. 関連団体との事業に参加・後援予定

- ・「がん検診に行こうよキャンペーン広島」
（広島県主催）に参加
- ・脳を見るシンポジウム三原（県立広島大学
主催） 後援
- ・広島国際大学健康フェア（広島国際大学主催）
後援
- ・「21世紀、県民の健康とくらしを考える会」
（広島県医師会主催）協賛
- ・ピンクリボンキャンペーン活動広島への参
加協力
- ・広島医療情報システム研究会 後援
- ・日本医用画像情報専門技師主催セミナー
後援
- ・広島CT技術研究会研究会 後援
- ・広島県医療情報技師会研修会 後援
- ・広島県臨床工学技師会学術大会 後援
- ・広島画像症例研究会 後援

4. 会議の開催

広島県診療放射線技師会理事会

- ・第1回理事会
6月27日（日）広島大学病院 臨床管理棟
大会議室
- ・第2回理事会（予定）
8月1日（日）広島大学病院 臨床管理棟
2F2会議室
- ・第3回理事会（予定）
9月25日（土）広島大学病院 臨床管理棟
3F2会議室
- ・第4回理事会（予定）
12月5日（日）広島大学病院 臨床管理棟
2F2会議室
- ・第5回理事会（予定）
3月21日（月・祝）広島大学病院 臨床管
理棟 3F2会議室
- ・第6回理事会（予定）
5月15日（日）広島大学病院 臨床管理棟

収支予算表 (案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,000	10,000	-9,000
2 受取会費			
会費収入	7,630,000	7,410,000	220,000
3 事業収益			
会誌広告掲載収益	580,000	550,000	30,000
研修事業収益	150,000		150,000
JART収益		125,000	-125,000
4 受取補助金等			
広島県補助金収益	70,000	70,000	0
5 雑収入			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	10,000	10,000	0
経常収益計	8,442,000	8,176,000	266,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	170,000	400,000	-230,000
福利厚生費	100,000	125,000	-25,000
旅費交通費	400,000	400,000	0
通信運搬費	512,000	352,000	160,000
消耗品費	62,000	152,000	-90,000
印刷製本費	3,110,000	1,950,000	1,160,000
賃借料	950,000	900,000	50,000
諸謝金	700,000	900,000	-200,000
広告宣伝費	150,000	150,000	0
地代家賃	495,000	495,000	0
交際費	60,000	50,000	10,000
諸会費	0	250,000	-250,000
支払手数料	32,000	21,000	11,000
支払負担金	0	320,000	-320,000
会議費	60,000	60,000	0
支払会費	250,000	0	250,000
貸倒会費	150,000	0	150,000
雑費	40,000	30,000	10,000
管理費			
給与手当	350,000	130,000	220,000
旅費交通費	300,000	300,000	0
通信運搬費	150,000	100,000	50,000
消耗品費	60,000	100,000	-40,000
修繕費(会計ソフト保守費)	60,000	60,000	0
光熱水料費	45,000	45,000	0
賃借料	20,000	120,000	-100,000
諸謝金	25,000	50,000	-25,000
地代家賃	165,000	165,000	0
交際費	50,000	50,000	0
会議費	50,000	50,000	0
租税公課	30,000	25,000	5,000
支払報酬料	600,000	600,000	0
雑費	100,000	10,000	90,000
経常費用計	9,246,000	8,360,000	886,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-804,000	-184,000	-620,000
2. 経常外収益の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	-804,000	-184,000	-620,000
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-804,000	-184,000	-620,000

収支予算内訳表 (案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:円)

科 目	公益事業等会計					収益事業等会計				法人会計	合計予算額	内部取引 消去
	公 1	公 2	公 3	公益共通	小 計	その他1	その他2	その他共通	小 計			
I一般正味財産増減の部												
1 経常増減の部												
(1) 経常収益												
1 基本財産運用益												
基本財産受取利息					0		1,000		1,000		1,000	
3 受取会費												
会費収入				5,341,000	5,341,000	150,000	78,900		228,900	2,060,100	7,630,000	
4 事業収益												
会誌広告掲載収益			580,000		580,000				0		580,000	
研修事業収益		150,000			150,000				0		150,000	
5 受取補助金等												
広島県補助金収益		70,000			70,000				0		70,000	
6 雑収入												
受取利息				1,000	1,000				0		1,000	
雑収益				10,000	10,000				0		10,000	
経常収益計	0	220,000	580,000	5,352,000	6,152,000	150,000	79,900	0	229,900	2,060,100	8,442,000	
(2) 経常費用												
事業費												
給与手当				170,000	170,000				0		170,000	
福利厚生費					0	100,000			100,000		100,000	
旅費交通費	100,000	200,000		100,000	400,000				0		400,000	
通信運搬費		500,000	10,000		510,000	2,000			2,000		512,000	
消耗品費	50,000	10,000			60,000	2,000			2,000		62,000	
印刷製本費(70周年記念誌含む)	50,000	60,000	3,000,000		3,110,000				0		3,110,000	
賃借料	650,000	300,000			950,000				0		950,000	
諸謝金		700,000			700,000				0		700,000	
地代家賃				495,000	495,000						495,000	
交際費				60,000	60,000				0		60,000	
支払手数料	5,000	10,000	5,000	10,000	30,000	1,000	1,000		2,000		32,000	
支払負担金					0	0	0		0		0	
会議費	50,000	30,000		100,000	180,000				0		180,000	
支払会費				250,000	250,000				0		250,000	
貸倒会費				150,000	150,000				0		150,000	
雑費	10,000	10,000			20,000		20,000		20,000		40,000	
管理費												
給与手当										350,000	350,000	
旅費交通費										300,000	300,000	
通信運搬費										150,000	150,000	
消耗品費										60,000	60,000	
修繕費(会計ソフト保守費)										60,000	60,000	
光熱水料費										60,000	60,000	
賃借料										20,000	20,000	
諸謝金										25,000	25,000	
地代家賃										165,000	165,000	
交際費										50,000	50,000	
会議費										50,000	50,000	
租税公課										30,000	30,000	
支払報酬料										600,000	600,000	
雑費										100,000	100,000	
経常費用計	915,000	1,820,000	3,015,000	1,335,000	7,085,000	105,000	21,000	0	126,000	2,020,000	9,231,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-915,000	-1,600,000	-2,435,000	4,017,000	-933,000	45,000	58,900	0	103,900	40,100	-789,000	
2. 経常外収益の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計					0				0		0	
(2) 経常外費用												
経常外費用計					0				0		0	
当期経常外増減額	-915,000	-1,600,000	-2,435,000	4,017,000	-933,000				103,900	40,100	-789,000	
他会計振替額	0	0	0	0						0	0	
当期一般正味財産増減額					-933,000				103,900	40,100	-789,000	

病院に最適なモニター品質管理の手法とは？

院内にモニター管理用のサーバーを導入し、自ら運用・保守を行うには費用と労力が発生します。EIZOは、インターネットとは隔離されたセキュアな閉域網でサーバーと安全に接続し、プロのサポートを味方に、モニター品質管理を安心運用できるサービスをご提案します。

RadiNET Pro Guardian

モニター品質管理トータルケア



Making Each Life Visual



EIZO株式会社

www.eizo.co.jp

本社 〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

ヘルスケア営業部(東京) 03-5764-3403

札幌 011-737-6601 仙台 022-212-8751 名古屋 052-232-7701 北陸 076-277-6790

大阪 06-4807-7707 広島 082-535-7701 高松 087-869-0877 福岡 092-715-7706



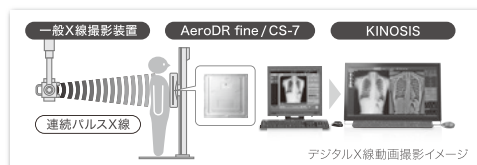
KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

[二次元コードから動画像をご覧頂けます]

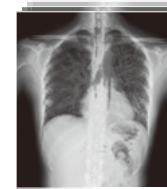
単純X線撮影は、 動画撮影の領域へ

デジタルX線動画撮影システムは、X線動画解析ワークステーション「KINOSIS(キノシス)」、可搬型DR「AeroDR fine」、及び一般X線撮影装置*1で構成され、パルスX線を連続照射し、コマ撮りした画像を連続表示することで、動画を作る、全く新しいシステムです。



X線動画解析ワークステーション

KINOSIS



*1 一般X線撮影装置としては、(株)島津製作所「診断用X線装置 RADspeed Pro」を採用しています。★IX線動画解析ワークステーション KINOSIS、及び「KINOSIS」は、「画像診断ワークステーション コニカミノルタ DI-X1」(製造販売認証番号:230ABBZX00092000)の呼称です。★「AeroDR fine」は、「デジタルラジオグラフィ SKR 3000」(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。★記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

製造販売元: コニカミノルタ株式会社 販売元: コニカミノルタ ジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 TEL (03) 6324-1080 (代) <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>

Canon

高精細画像 × AI

医用画像の分野で、AI技術が進化を遂げる「鍵」は、リソースとなる画像の量と質。
従来にない高分解能と短時間撮像を可能とした、キャノンのCT・MRIの技術が、
いま、新たに開発したAI技術と融合。さらなる画質向上を実現しました。

高精細画像とAI技術の融合により、医療現場の未来を拓く。
私たち、キャノンの使命です。



キャノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

生命を未来に繋げるために

Challenge & Realize

私共は「命の大切さ」を念頭に
真心をこめて信頼をお届けする企業を目指し
医療を通じて社会に貢献します。



小西医療器株式会社

本社	TEL 06-6941-1363	広島営業所	TEL 082-501-3702	今治営業所	TEL 0898-34-3350
東京営業所	TEL 03-5303-7887	鳥取営業所	TEL 0857-28-7107	大阪物流センター	TEL 06-4805-7231
京都営業所	TEL 075-693-9225	米子営業所	TEL 0859-33-4671	山陽物流センター	TEL 084-932-7311
大阪営業所	TEL 06-4805-7350	松江営業所	TEL 0852-25-1590	山陰物流センター	TEL 0859-33-6611
神戸営業所	TEL 078-686-0120	出雲営業所	TEL 0853-22-9255	近畿SPDセンター	TEL 06-4805-7281
岡山営業所	TEL 086-246-6311	浜田営業所	TEL 0855-24-3533	山陽SPDセンター	TEL 082-501-3702
福山営業所	TEL 084-924-3108	松山営業所	TEL 089-905-7710	山陰SPDセンター	TEL 0859-33-8080

GEヘルスケア・ジャパンは、日本の医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニーです。

GEヘルスケアの中核拠点の1つとして1982年に設立されて以来、グローバル企業としての強みを取り入れつつ、国内に有する開発、製造から販売、サービスまでの一貫した機能を活かし、質の高い持続的な医療を日本にお届けすることを目指しています。



かけがえのない瞬間をより豊かに —

Improving lives in moments that matter

gehealthcare.co.jp

非イオン性造影剤

処方箋医薬品※ 薬価基準収載

日本薬局方 イオヘキソール注射液

オムニパーク®

※ 注意—医師等の処方箋により使用すること



- シリンジ
240注 シリンジ 100mL (尿路・血管・CT用)
300注 シリンジ 50mL (尿路・CT用)
シリンジ 80mL・100mL (尿路・血管・CT用)
シリンジ 110mL・125mL・150mL (CT用)
350注 シリンジ 45mL・70mL・100mL (血管・CT用)
- バイアル
140注 50mL・220mL (血管用)
240注 20mL・50mL・100mL (尿路・血管用)
300注 20mL・50mL・100mL (尿路・血管用)
150mL (血管用)
350注 20mL・50mL (尿路・血管用)
100mL (血管用)
180注 10mL (脳槽・脊髄用)
240注 10mL (脳槽・脊髄用)
300注 10mL (脊髄用)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌(原則禁忌を含む)および使用上の注意等の詳細につきましては、最新の添付文書をご参照ください。

Rev.1.01.2020/08 OE-1(MKT-KMI)V1C12 JB80256XA
2020年8月作成

製造販売元(製品情報お問い合わせ先)

GEヘルスケアファーマ株式会社 東京都港区赤坂5-2-20 TEL 0120-241-454

GEファーマ

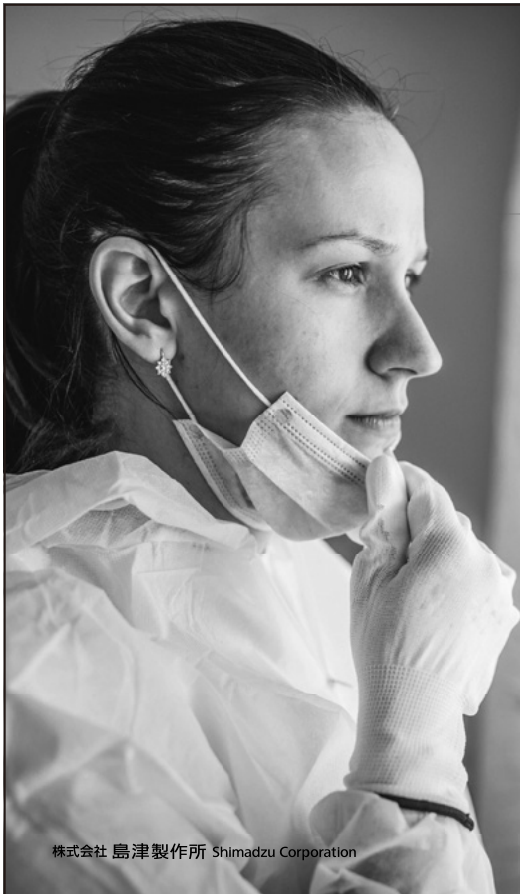


Shaping the future of healthcare

Siemens Healthineersは、これからの医療サービスの中核になるのは、新たなバリューであると考えています。プレジジョン・メディシンを拡充し個別化医療を進めること、医療サービスの提供方法そのものを変革していくこと、ペイシェント・エクスペリエンスの質を高め、家族の満足度にも配慮すること。さらに、医療のデジタル化を強かに推し進めることで、健康と医療の本質を変えること。これらバリュー向上を通して、医療に携わる方々が、これまで以上に優れた医療サービスを低コストでご提供できるよう取り組んでいます。

www.siemens-healthineers.com/jp

SIEMENS
Healthineers



株式会社 島津製作所 Shimadzu Corporation

SHIMADZU
Excellence in Science

科学技術で社会に貢献する。

今、島津製作所がすべきこと。

一日でも早く、医療現場に必要な検査試薬・装置を届けること。

よりスムーズなPCR検査に向け、研究開発を進めること。

未知に立ち向かう、治療薬の開発をサポートすること。

私たちは、科学技術の力で、医療の最前線を支援します。

COVID-19に対するSHIMADZUの取り組み

肺炎診断に有用な
移動式X線撮影装置



回診用撮影システム

PCR検査を省力化する
試薬キット



PCR検査用試薬

無人問診で
感染リスクを低減



病院向け・
外来受付システム



<https://www.shimadzu.co.jp/covid-19/>

千代田テクノルは
放射線

を
測る
から
守る
で
治す

TECHNOL

放射線は危険な性質を持っている反面、有効に利用すれば人類に大きなメリットを与えてくれる無限の可能性をそなえています。

千代田テクノルは、医療・原子力・産業・放射線測定などの各分野において、放射線を安全に有効利用するための機器やサービスをトータルに提供。

放射線の「利用」と「防護」の双方において、お客様のあらゆるニーズにきめ細かく対応しています。

株式会社 **千代田テクノル**

URL: <http://www.c-technol.co.jp>

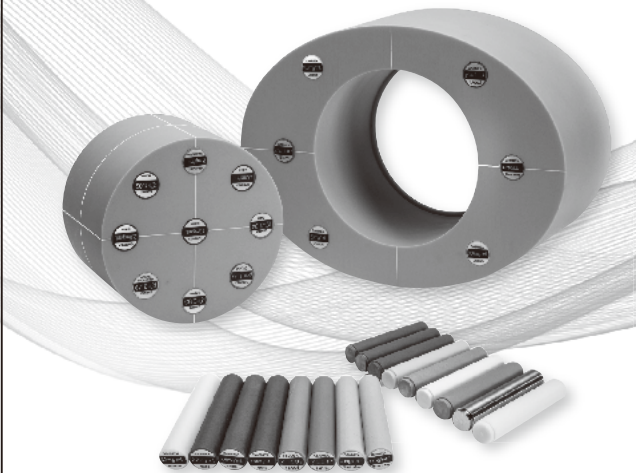
e-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

千代田テクノル **検査**



JQA-QM8513
Tokyo・Osaka
Kashiwazaki Kanma

先進の診断画像のクオリティと精度を得るために マルチエナジーCTファントム



マルチエナジーCT装置のメリットを得るには、その性能評価が重要です。
Gammex社のマルチエナジーCTファントムは、CT装置のロバストな性能評価を実現します。

- ヨウ素、カルシウム、血液、脂肪などに相当する固体ロッドを用いた材質識別テストに
- 臨床プロトコルの有効性検証に
- マルチエナジースキャンの定量的な精度検証に
- CT装置間の一貫性・安定性比較に
- 拡張FOVにおけるアーチファクト確認に

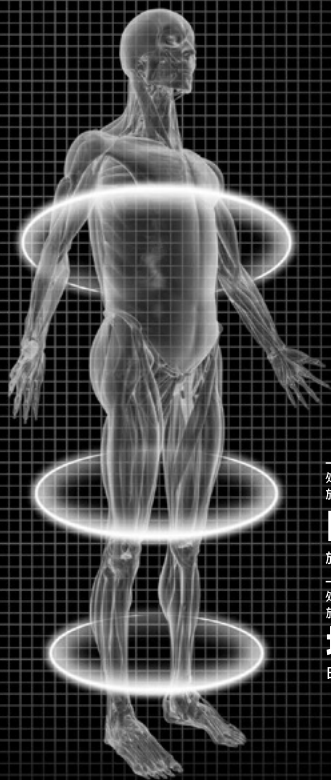


For All Your Tomorrows
TOYO MEDIC

東洋メディック株式会社

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13
TEL. (03) 3268-0021 (代表)
<https://www.toyo-medic.co.jp> E-mail info@toyo-medic.co.jp

nihon
medi+physics



PET/SPECT

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、虚血性心疾患診断薬、てんかん診断薬

【保険適用】

FDGスキャン[®]注

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F) 注射液

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、線癌) 診断薬

【薬価基準収載】

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP

日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注射液

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性病変診断薬

【薬価基準収載】

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP

日本薬局方クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga) 注射液

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・骨疾患診断薬

【薬価基準収載】

クリアボン[®]注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

®:登録商標

注) 注意・医師等の処方箋により使用すること

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの「医療関係者専用情報」サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂



資料請求先


バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

非イオン性尿路・血管造影剤
日本薬局方 イオパミドール注射液

イオパミロン[®]注

150 300 370
300シリンジ 370シリンジ

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく
薬価基準収載

※効能・効果、用法・容量、警告、禁忌等を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

PP-IOP-JP-0846-22-05

2020年5月作成


PHILIPS

Ingenia Ambition 1.5T

Excel in your daily
MR services
helium-free

ヘリウムフリー*を実現した
BlueSealマグネット搭載
Ingenia Ambition 1.5T

There's always a way to make life better.

innovation  you

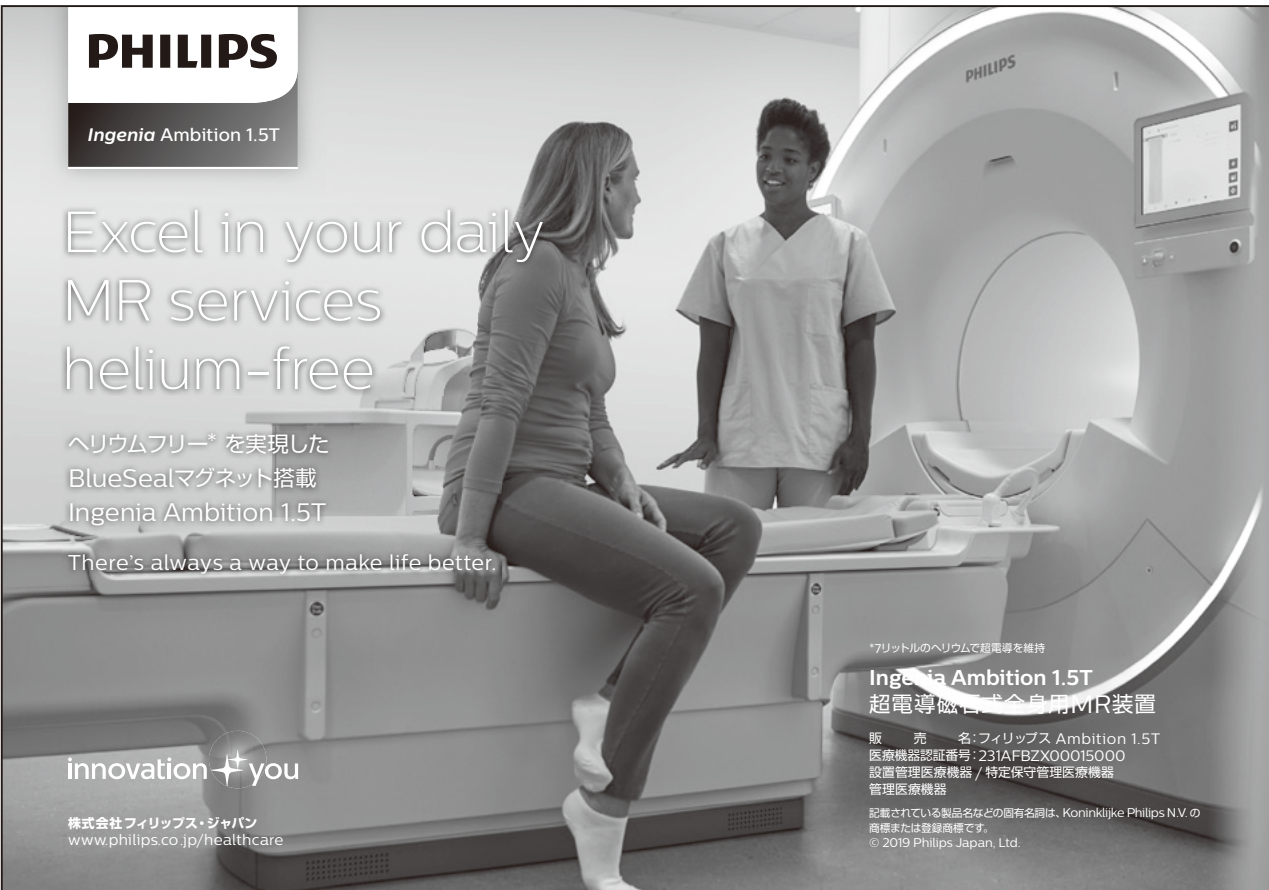
株式会社 フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

*フリットルのヘリウムで超電導を維持

Ingenia Ambition 1.5T
超電導磁気共鳴専用MR装置

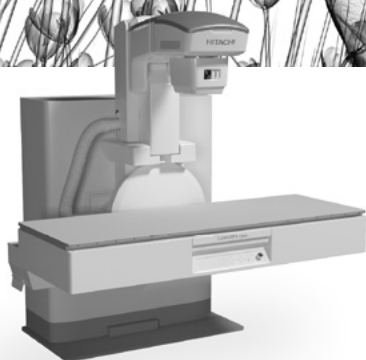
販売名: フィリップス Ambition 1.5T
医療機器認証番号: 231AFBZX00015000
設置管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
管理医療機器

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. の
商標または登録商標です。
© 2019 Philips Japan, Ltd.



HITACHI
Inspire the Next

真価、さらに進化。



X線透視システムの未来に、そう大きな変化は訪れない。誰もがそう思っていたのではないのでしょうか。でも私たちが出した答えは、Noです。なぜなら、もっとこうであればいいのに、なぜ、そうならないのだろう……という声は、検査室では常に聞かれていたからです。誰もがあきらめかけていた進化を、私たちの手で動かしたい——そのために検査室の「声」に耳を傾け、導き出した解。CUREVISTA Openから再び動き出します。

CUREVISTA Open
Digital RF System

販売名：汎用 X 線透視診断装置 CUREVISTA Open 医療機器認証番号：第 302ABBZX00032000 号 ・ CUREVISTA は株式会社日立製作所の登録商標です。

株式会社 日立製作所 www.hitachi.co.jp/healthcare

Innovating Healthcare, Embracing the Future

Nemoto



DUOism

世界初のアンギオ用デュアルタイプインジェクター（2筒式）として高い評価を集める "PRESS DUO"。そこに込められた理念はそのままに、生まれたのが "PRESS DUO elite" です。多彩な先進技術と根本杏林堂の "ism" を集結して生まれた "elite"。アンギオの新時代は、ここから始まります。

NEW



PRESS DUO elite

Dual type Contrast Delivery System
for CT Like imaging

株式会社 **根本杏林堂**
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541
<http://www.nemoto-do.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation



処方箋医薬品[※] 薬価基準収載
非イオン性尿路・血管造影剤
イオプロミド注「FRI」

イオプロミド300注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド370注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド300注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

イオプロミド370注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI
イオプロミド注射液 [※]注意—医師等の処方箋により使用すること

- 「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム 富山化学株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル TEL.03(5250)2620
ホームページ：<http://fmc.fujifilm.co.jp>

輸入先



バイエル社
(ドイツ連邦共和国)

2018年10月作成

NEVER STOP

AI画像解析で、
アルツハイマー病に立ち向かう。

記憶や思考能力が失われていくアルツハイマー病。
そのメカニズムは、未だ完全には解明されておらず、治療薬の開発が待ち望まれている。
私たちはこうした病に、AI技術による画像解析で挑んでいる。
新しい治療法の開発に欠かせないのが、脳の変化を正しく捉えて分析すること。
FUJIFILMのAI技術は、脳を100以上の部位に分解しその萎縮を可視化する。
世界で初めてX線画像のデジタル化を実現したFUJIFILMは、
患者のデータをより精緻に分析し、より早く正確な診断につなげるために、
AI画像解析の可能性を、アルツハイマー病治療の領域でも探求し続けます。



富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8033(代)

<http://fms.fujifilm.co.jp>

薬価基準収載 処方箋医薬品

硫酸バリウムX線造影剤

バリコンミール[®]

硫酸バリウム散 98.8%「ホリイ」

硫酸バリウム散 97.5%「ホリイ」

X線二重造影用発泡剤

バロス発泡顆粒 バロス発泡顆粒-S

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等
については添付文書を参照してください。

胃・腸の診断を通じて奉仕する

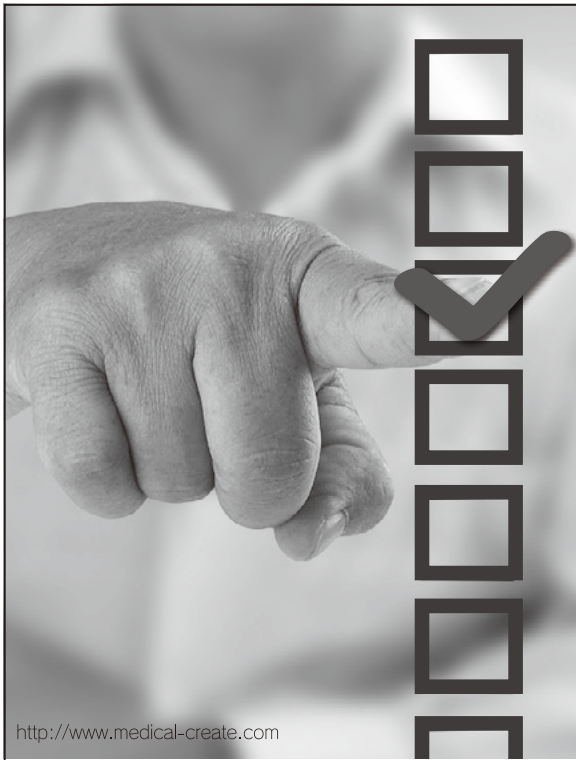


堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481(代) FAX 06-6942-1505
(資料請求先：安全性情報部)

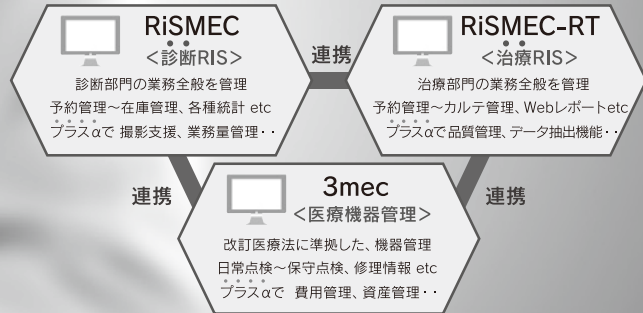
☎0120-010-320 <http://www.horii-pharm.co.jp>



システムに
求められるもの
それは
労力なしでプラスα

私たちメディカルクリエイトが、
放射線業務を力強くトータル支援。

3つの管理



MEDICAL CREATE 開発・販売・サポート商品

<http://www.medical-create.com>



MEDICAL CREATE

株式会社メディカルクリエイト

TEL 082・568・1920 FAX 082・263・1586

〒732-0827 広島市南区福荷町1-1 ロイヤルタワー 504 営業所(中四国・東京・大阪・福岡・仙台・開発センター)

編集後記

熱しやすく冷めやすい性格で44年間生きてきた私が、最近ハマっているものは“キャンプ”である。以前よりコテージで泊まったり、BBQを楽しんだりということはあったが、現在はキャンプ道具（通称ギア）をあれこれ買ったり、キャンプのグループLINEが出来たりしている。キャンプといえば料理を思い浮かべるが、私は料理にまったく縁が無く、作っても野菜炒め程度。しかしキャンプは『自分がカッコイイと思って買ったギアで自分の空間を作り、旨そうなものを焼く』。ただこれだけが楽しく、そしておいしい。まさに“アツアツ”の状態である。診療放射線技師会もタスクシフト・シェアといった大きな変革の年です。こちらもキャンプに負けず“アツアツ”の状態である。(T. O)

長年の運動不足とお腹のでっぱりが気になってきたため4年ほど前からジョギングを始めた。元来ストイックな性格ではないため「マラソン大会に出場する」や「体重を〇kgにする」などの目標は特に立てなかった。週1回～2回近所を10km程度走るだけである。

その効果であるが、食事の制限はしていないのでダイエットの効果はほどほどである。(実際3～4kg程度の減少だが、自分では脂肪が筋肉に置き換わっているとポジティブに解釈している。) また、歳のせいで膝や股関節の痛みにも悩まされることもあり2週間ほど休んだりすることもしばしばである。

そんなゆるい感じのジョギング習慣であるが、私が

目に見えて感じる効能が二つある。一つは仲間が増えたこと。職場で仲間を募りリレーマラソンに出たり駅伝に申し込んだりした。職種を超えて交流が持て業務も円滑に行えるようになった(気がする)。職場以外でも自宅のコミュニティで声をかけていただき、駅伝チームに参加させていただいた。病院関係の人以外と話をすることがほぼ無いので、このつながりは非常に新鮮に感じた。

もう一つの効能は、普段の生活の中で思いつかないような発想が突然湧いてくること。スマホをポケットに仕込んで音楽を聞きながら走るのが普段のスタイルであるが、走ること自体単純な行為なので何か考え事をする。特に上り坂に差し掛かった時などは体がつらく休みたい衝動に駆られる。そんな時、現実逃避して考え事をする。仕事のことであったり、趣味の事であったり、夕飯のレシピであったり。今のところジョギング中に思いついたことで画期的に業務が改善した何てことは無いのだが、仕事の進め方でヒントとなることが思いついたり、忘れかけていた予定を思い出したりすることもよくある。ただ、悲しいのは思いついた中のいくつかは自宅についたころに思い出せなくなることである。

コロナ渦で運動不足やストレスに悩まされている方も多いと思うがジョギングはおすすめである。自分の足に合ったシューズとTシャツ、短パンがあれば他は何もいらぬ。気軽に始めてみたらいかだらうか。(ジョギング前後のストレッチと水分補給は忘れずに。)(K. T)

編集委員

戸塚 功二 (理事：井野口病院)
富久 昇 (北西山県支部理事：日比野病院)
小村 哲也 (広島中央支部理事：浜脇整形外科病院)
畑山 秀貴 (福山支部理事：中国中央病院)

公益社団法人広島県診療放射線技師会会誌
No.55

2021年6月1日 発行

印刷・製本 株式会社中本本店

発行人 木口 雅夫

発行所

公益社団法人 広島県診療放射線技師会
〒732-0826 広島市南区松川町1-15 ポエム松川303
電話番号：082-263-7753
受付時間：水曜日 12：00～16：00 / 金曜日 13：00～16：00
<https://hiroshima-rt.com/>